



大妻女子大学 国際センター 事業と実績

国際交流のすすめ



2020年3月 発行

CONTENTS

はじめに	01
国際センターの主な活動について	02
海外協定校・研修校一覧	02
留学の目的	05
各種留学プログラム	05
短期語学研修	06
長期留学・交換留学	08
海外ボランティア	11
ACEJ短期語学研修	13
ウエスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グラウンドスタッフ トレーニングプログラム	16
海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム	17
国際センター受け入れ留学生について	18
安全と危機管理	20
留学お役立ち情報	21
特別講座／国際交流イベント	23
教員紹介	25
海外留学支援制度（協定派遣）奨学金受給者の留学体験記（一部抜粋）	25
海外研修・留学プログラム 参加者の声（一部抜粋）	29

はじめに

若者たちの力強い活躍に期待——国際舞台での過去・現在・未来へ

今世紀に入り、情報の急速な進化がなされ、AIの活躍する社会も現実視されている。つい、150年程前は、鎖国により諸国との交流も無く、動力も人力、馬力が主流で、電車は勿論、蒸気機関車などもなかった時代であったことが嘘のように感じられる。

教育界もまた、強力にグローバル化が推進されている。それは教育の第三の波と言ってもよい。第一波は鎖国が解かれた頃の、幕末から日本の近代化への動きと共にあり、第二波は第二次世界大戦後のアメリカを模範とした制度化。それにより結果した負に対する反省が、今の第三の波となる。つまり、小規模な藩校から近代的な学校制度へ、その後の第二次世界大戦の敗戦を機に、欧米に追い付き追い越すための知識偏重・注入型による、学士の大量生産・大量社会放出に繋がった。第三波は、知識活用型人間の育成である。インターネットの普及を経て、現在は国境を越えたボーダレスの世界となり、自由に個人が全世界に発信できる。そのため、個人の資質と能力が問われ、個の多様性が重視され、一人ひとりが自分の意見を組み立て、自分の言葉で発信し、課題解決へと共生できる力が重視されている。このような多面的評価にたえられる論理的な思考力、多彩な体験により未知の課題を解決できる知識活用型の国際人・地球市民になれるのは、若者が一番ふさわしい。丁度、明治維新とその後の文化変革を促進したのが、当時の若者たちであったことと符合する。

21世紀となった現在、時代の潮流が変わり、従来の価値観では対応しきれない局面を迎えている状況にあっては、今再び若者たちの力が時代をリードするのが、歴史の必然である。幕末の1863年に長州から五人の藩士が切腹覚悟の密航を挙行し留学した。渡英した5人は、のちの内閣の伊藤博文を含む、外交の井上馨、工学の山尾庸三など、当時20歳代の若者たちだった。それに続いた19人の薩摩藩士は、渡英時18歳の初代文部大臣の森有礼をはじめ、13歳や14歳も含めた若者達であった。その者達は、教育・外交・文化、そしてワインやビールといった食文化にまで多彩に日本の近代化を推進した。

若い学生の皆様は、かつての若者たちのように切腹を覚悟することもなく、短時間で移動できる飛行機を使い、外国に留学し修学する環境が用意されている。くわえて、自国にあって、諸外国からの留学生とも交流することができ、150年前とは比較にならないくらい恵まれた状況下にある。こうした現代の利点を最大限生かす学生生活を過ごされることを希望し、時代を大きく転換する指導的役割を果たすよう、国際舞台で未来を切り開く国際交流活動を担っていくことを期待し、国際センターは若い皆様を心より応援し、支援致します。

大妻女子大学 国際センター所長 井上 美沙子

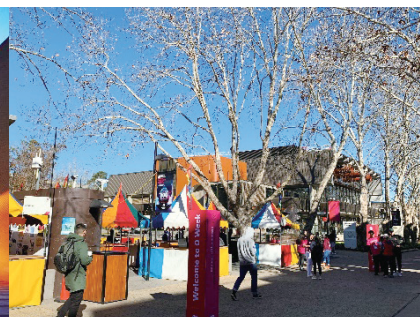
〈2019年度、新たに協定校となった大学例〉



ポートランド州立大学（アメリカ）



ヨーク大学（カナダ）



マッコーリー大学(オーストラリア)

国際センターの主な活動について

- 1) 本学学生の留学への送り出し
- 2) 外国人留学生の受け入れ
- 3) 留学生の送り出し、受け入れに必要な教育・学習
- 4) 留学生の送り出し、受け入れにともなう危機管理
- 5) 受け入れ留学生と本学学生との交流推進

■留学への送り出し

- ①留学事前・事後の学習として異文化理解講座、国内留学体験講座等を開設しています。
- ②帰国後に留学の成果を生かしキャリア形成につなげるための特別講座や、更なる国際理解推進をはかるためのイベントを開催しています。
- ③危機管理に関する学習プログラムとして「危機管理オリエンテーション」などを開催するとともに、日常的な危機管理体制を維持・運用しています。

■外国人留学生の受け入れ

- ①「読解」「聴解」「文章表現」「口頭表現」「総合」「日本語能力試験対策」などの日本語教育プログラムを開設。
- ②日本文化に関する学習の一環として、「映画から見る日本文化」「日本の漫画とその文化」「日本語と日本の文化」「日本の文学（近・現代）」「日本の家政学」などの講座を開設、また、学内・外の様々な施設を訪問したり、各種イベントに参加するプログラムも用意されています。
- ③本学で学ぶ留学生のための、奨学金や学生納付金減免手続きを行っています。

海外協定校・研修校一覧

国	大学	対象	特徴
アメリカ	セント・ジョセフ大学	-	1932年に創立された学生総数約1,500名の女子大学。先進的・先導的な幼児教育・特別支援教育が行われています。
	マレー州立大学	全学部／全学科	1922年に創立された州立大学。人口2万人のケンタッキー州マレー市に位置し、留学生を含むおよそ1万人の学生が学んでいます。
	ユタ大学	-	1850年創立された州立大学。ミシシッピ以西でできた初期の大学。キャンパスは、ユタ州の州都ソルトレークシティに位置しています。
	カリフォルニア大学 リバーサイド校	全学部／全学科	1954年創立。カリフォルニア大学群のうちの一枚。メインキャンパスはカリフォルニア州リバーサイドにあります。
	カリフォルニア州立大学 チコ校	全学部／全学科	1887年創立。カリフォルニア州立大学機構のうちのひとつで、同州チコに立地する州立大学。チコ校の学生数は約14,000人で、キャンパスには近代的なビルが立ち並びます。
	ポートランド州立大学	全学部／全学科	1946年創立。オレゴン州では唯一主要都市部に位置する州立大学で、市内に広大なキャンパスを持つオレゴン州最大の大学。学生は約25,000名以上で、特に経営学、教育学、理工学の研究領域が有名です。
カナダ	ダグラスカレッジ	-	1970年創立。英語研修プログラムを履修した後、所定の英語力が認定されると、カナダ人学生と共に学ぶアカデミックプログラムを履修できます。
	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学部／全学科	1908年創立。学生総数約5万人のカナダ西部最大の研究総合大学。夏期語学研修では英語学習のほか、ホームステイを通しカナダ社会への理解を深めます。
	ヨーク大学	全学部／全学科	1959年創立。トロントにあるカナダで3番目に学生数が多い総合大学。カナダ最大規模の広さを誇るキャンパスを持ち、世界150カ国以上から留学生を受け入れています。
中国	北京師範大学	全学部／全学科	1902年創立。国際交流に力を入れ、50以上の国から集まった2,000人余りの留学生が寮生活をしながら、学んでいます。

中国	南開大学	比較文化学部	中国トップクラスの総合大学で、中国語コミュニケーションの能力を高めます。	
	雲南大学	受け入れのみ	1922年創立。西部エリアでは、特に古い歴史を誇る大学です。	
	大連外国語大学	全学部／全学科	1964年創立の外国語大学。日本語教育においては中国国内ではトップクラスです。	
	山東女子学院	全学部／全学科	前身は1952年設立の「山東婦女幹部学校」。日本語学科を含む外国語学部、教育学、芸術学、観光学などの学部で、約15,000人が学んでいます。	
台湾	国立台北教育大学	—	台湾を代表する国立の教育大学です。教育大学ならではのカリキュラムや指導方法で、効果的に中国語を学ぶことができます。	
	国立台湾師範大学	短期研修対象	全学部／全学科	台湾で最も歴史のある中国語教育機関。語学の授業や校外実習が充実しており、日本語のできるスタッフが常駐しています。
		長期留学対象	比較文化学部	
国立台湾大学	全学部／全学科	1945年に設立された台湾一大きな国立大学です。台湾で最も権威のある大学として有名です。6つのキャンパス、11学部、54学科を設け、3万人以上の学生が通っています。		
韓国	国民大学校	全学部／全学科	1946年創立。ソウル市に設立された人科学部・社会科学部・法学部・経営学部・工学部・自然科学部など16学部をはじめ大学院14研究科、約2万人の学生が在学している総合大学で、交換留学生も毎年100名以上受け入れています。	
	梨花女子大学校	全学部／全学科	1886年に米国の宣教師メアリー・スクラントンによって創設された韓国最初の女子大学。2万人を超える学生を有し、女子大学としては世界最大規模です。	
	明知大学校	全学部／全学科	1948年に創立された韓国の名門キリスト教私立大学です。約30カ国450人余りの外国人学生が、韓国人の学生と一緒に勉強しています。	
マレーシア	アジア・パシフィック大学	全学部／全学科	1993年創立のマレーシアの名門大学で、主にIT産業人材を育成しています。約120カ国から集まった留学生とともに英語を学びながら、マレーシアならではの多文化共生社会を体験することができます。	
	サンウェイ大学	人間関係学部	マレーシアを代表する企業財団のサンウェイグループが運営する1987年創立の総合私立大学です。学生数は約12,000人で、90ヶ国以上3,000人の留学生が学ぶ国際色豊かな学校となっています。	
オーストラリア	ディーキン大学	全学部／全学科	1974年創立。ビクトリア州内に4つのキャンパス（メルボルン市内及び郊外があります。）メインキャンパスのパーウッドキャンパスは活気ある都市型キャンパスで、12,000人以上の学部生、院生が学んでいます。	
	モナシュ大学	全学部／全学科	1958年創立の州立大学。ビクトリア州内に5つのキャンパス（メルボルン市内及び郊外）と海外キャンパス（南アフリカ、マレーシア）がある国際色豊かな総合大学です。	
	マッコリー大学	全学部／全学科	1964年創立。シドニー郊外に位置し、40,000人を超える学生のうち、留学生が20%を占めます。キャンパス内にはオーストラリア最大規模のIELTSテストセンターがあります。	
ニュージーランド	オークランド工科大学	全学部／全学科	ニュージーランド最大の都市オークランドにある同国最大規模の大学です。留学生の受け入れに積極的で、ニュージーランド内で1位にランクインしています。	
イギリス	オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ	短期研修対象	全学部／全学科	1282年に設立されたオックスフォード大学の構成カレッジの一つ。学生総数は約600名ほどで、世界各国から留学生が集まる名門大学です。
		長期留学対象	比較文化学部、短期大学部	
	ロンドン大学	文学部英語英文学科 ／英文学科	ロンドン大学UCL校はロンドン中心部に位置し、1826年に創立されたロンドン大学機構最古の大学です。	
スターリング大学	全学部／全学科	1967年創立の国立大学。14,000人以上の学部生・院生を有し、留学生も120ヶ国以上、約2,800人が学ぶ。広大なキャンパスは「英国で最も美しいキャンパス」と呼ばれています。		

ドイツ	フライブルク大学	全学部／全学科	1457年創立。フライブルク・イム・ブライスガウにあるドイツでも最も古い大学の一つ。夏期語学研修では、ドイツ語初心者のために解説されるサマープログラムを受講し、ドイツ語とドイツ文化を学びます。
	ミュンスター大学	比較文化学部	18世紀に創立されたミュンスター大学の附属機関でドイツ語とドイツ文化を学びます。ミュンスターは中世よりある北ドイツの街です。30年戦争を終結させたウェストファーレン条約が締結された街でもあり、ヨーロッパの波乱に満ちた歴史を感じさせます。8月から12月の長期研修は、ホームステイで現地の生活が体験できます。
フランス	レンヌ 第2大学	全学部／全学科	レンヌ大学（1735年設立）から第1・第2に分割される形で1969年に設立された歴史ある国立大学。夏期語学研修では、大学付属のフランス語教育センターで行われる「フランス語と文化コース」に参加し、フランス語の授業を受けます。
スペイン	サン・ホルヘ大学	比較文化学部	短期研修は、ユネスコ世界遺産であるクエンカ市とサン・ホルヘ大学が提携する「ほんもののスペイン体験」というプログラムで、町ぐるみで留学生をサポートします。語学と同時にスペイン文化を学ぶカリキュラムが組まれています。
イタリア	ペルージャ外国人大学	全学部／全学科	ペルージャ外国人大学は、イタリア語とイタリア文化を学ぶ留学生のための大学として1920年に設立されました。現在は学位取得コースで学ぶイタリア人学生も加わって、世界中の学生たちが国境を超えたキャンパスライフを楽しんでいます。



モナシュ大学（オーストラリア）



オックスフォード大学（イギリス）



ペルージャ外国人大学（イタリア）

留学の目的

大妻女子大学は、ディプロマ・ポリシーのなかで「グローバル化した社会において、コミュニケーション力を駆使し、自己の未来を切り開いていく能力」を身につけることを掲げている。国際センターは、ディプロマ・ポリシーに即した人材とすべく、国内外共に常に時代の変化に適応し「学び働き続ける女性」として社会のあらゆる分野に主体的に参画貢献できる自立した女性の育成を目指しています。

留学において、主体的に学ぶ習慣や、多様性を理解し様々な人と協働できるコミュニケーション能力を持った女性の育成を目指しています。

各種留学プログラム

■短期語学研修

短期語学研修は夏季休業期間や春季休業期間を利用して実施される1ヶ月前後の研修で、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、台湾、韓国、マレーシア、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアなどの大学キャンパス内での語学研修や文化体験を主目的としたプログラムです。滞在方法も大学の寮やホームステイなどから選ぶことができます。

1学期間や1年間といった長期留学への参加が難しい学生や、長期留学の事前準備として参加するケースも多く見られます。

研修後、必要な手続きを行うことにより卒業要件の単位に認定されます。

■長期留学・交換留学

大妻女子大学が協定を結ぶ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、韓国、フランスなどの大学に、1学期間または1年間留学するプログラムで、留学期間中に所定のレベルに到達すると現地の学生とともに大学の正規科目を受講できる場合もあります。

なお、長期留学では留学期間中の学納金は、授業料は免除され、教育充実費のみ納入します（留学先の学費は納入します）。

また、交換留学では留学期間中の学納金は大妻女子大学に納入します（交換留学先の学納金は免除となりますが、寮費などの支払いが必要です）。

協定校への長期留学・交換留学では、留学期間は在学年数として認められ、留学先で得た単位を本学の単位として認定する制度があります。卒業までに必要な単位を取得すれば、通常の修業年限での卒業が可能となる場合もあります。

■海外ボランティア

国際教育交換協議会（CIEE）が主催する海外ボランティアプログラムを紹介しています。事後、必要な手続きを行うことにより卒業に必要な単位として認められるものがあります。

■ACEJ短期語学研修

一般財団法人JSAF（日本スタディ・アブロード・ファンデーション）が主催する短期語学研修を紹介しています。研修後、必要な手続きを行うことにより卒業に必要な単位として認められるものがあります。

■ウエスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グランドスタッフトレーニングプログラム

エステーエートラベルが主催するウエスタン・シドニー大学内ランゲージセンターで語学研修とカンタス航空のキャビンクルー・グランドスタッフトレーニングプログラムを紹介しています。研修後、必要な手続きを行うことにより卒業に必要な単位として認められます。

■海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム

早稲田アカデミックソリューションが主催する、東南アジア各国での「体験・課題解決型」プログラムを紹介しています。インターンシップやボランティア等を通じて課題を設定し、日本の他大学からの参加学生とともに解決策を探ります。参加後、必要な手続きを行うことにより卒業に必要な単位として認められるものがあります。

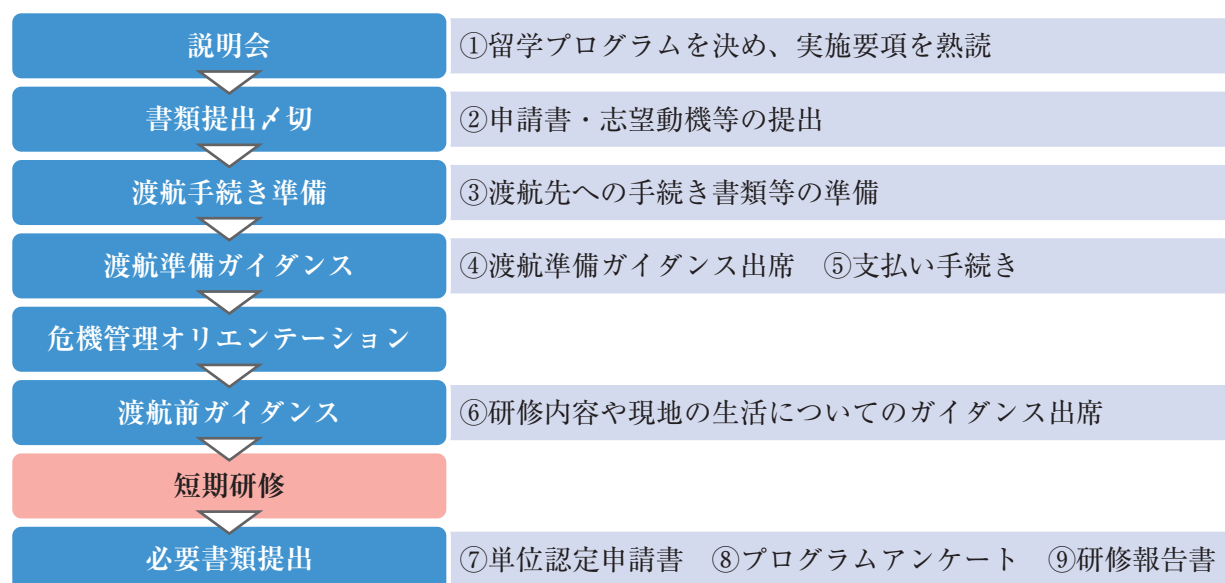
短期語学研修

短期語学研修は、夏季休業期間や春季休業期間を利用して実施される1ヶ月前後の研修です。

短期語学研修実施校

留学先	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期
カリフォルニア州立大学チコ校ALCI (アメリカ)	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	4週間	2月～3月
ポートランド州立大学IELP (アメリカ)			3週間	8月～9月
ブリティッシュ・コロンビア大学ELI (カナダ)			4週間	8月～9月
ヨーク大学ELI (カナダ)			4週間	2月～3月
			3週間	8月～9月
ディーキン大学ELI (オーストラリア)			3週間	8月～9月
モナシュ大学ELC (オーストラリア)			5週間	2月～3月
北京師範大学漢語文化学院 (中国)			2週間又は 3週間	7月～8月 2月～3月
山東女子学院 (中国)			3週間	3月
国立台湾師範大学国語教学センター (台湾)			3週間	2月～3月
梨花女子大学校言語教育院 (韓国)			3週間	3月
アジア・パシフィック大学LC (マレーシア)			4週間	2月～3月
オックスフォード大学ハートフォードカレッジ IPD (イギリス)			3週間	8月～9月
スターリング大学IELS (イギリス)			6週間	2月～3月
フライブルク大学SLI (ドイツ)			4週間	8月
レンヌ 第2大学 CIREFE (フランス)			4週間	8月～9月
イタリア文化研修 (イタリア)			2週間	8月～9月
ロンドン大学英語音声学セミナー (イギリス)	文学部英語英文学科/英文学科	18日間	8月	
サンウェイ大学 (マレーシア)	人間関係学部	3週間	8月～9月	
サン・ホルヘ大学 (スペイン)	比較文化学部	2週間又は3週間	8月～9月	
ヨーロッパ文化研修 (ギリシャ)				実施せず

短期語学研修ロードマップ



※多少変更されることがあります。

■短期語学研修参加者数

2019年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	0	1	1	0	0	0	2
	ポートランド州立大学IELP	1	3	1	2	1	1	9
	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI	0	1	1	0	0	0	2
	ヨーク大学ELI	2	3	4	1	0	1	11
	ディーキン大学ELI	1	1	0	0	1	0	3
	モナシュ大学ELC	0	1	1	3	3	1	9
	国立台湾師範大学国語教学センター	0	0	0	0	2	0	2
	アジア・パシフィック大学LC	1	0	1	0	0	0	2
	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	2	4	0	4	5	3	18
	スターリング大学ELP	1	4	0	1	2	0	8
	フライブルク大学SLI	0	1	0	0	1	0	2
	レンヌ第2大学CIREE	0	1	0	0	1	0	2
	イタリア文化研修	3	1	0	0	1	0	5
比較文化学部	サン・ホルヘ大学	-	-	-	-	4	-	4

2018年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	0	1	0	0	2	0	3
	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI	1	3	1	2	5	0	12
	ディーキン大学ELI	1	3	0	0	0	0	4
	モナシュ大学ELC	0	2	0	0	0	1	3
	国立台湾師範大学国語教学センター	0	1	0	0	4	0	5
	梨花女子大学校言語教育院	3	2	1	0	5	0	11
	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	0	3	3	2	5	2	15
	スターリング大学ELP	0	2	0	0	0	0	2
	フライブルク大学SLI	0	0	0	0	1	0	1
	レンヌ第2大学CIREE	1	0	0	0	1	0	2
文学部英文学科	ロンドン大学英語音声学セミナー	-	4	-	-	-	-	4
比較文化学部	サン・ホルヘ大学	-	-	-	-	8	-	8
	ヨーロッパ文化研修	-	-	-	-	14	-	14

2017年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	0	1	3	0	3	1	8
	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI	2	4	1	1	1	0	9
	モナシュ大学ELC	3	3	1	3	3	1	14
	国立台湾師範大学国語教学センター	0	0	1	0	4	0	5
	梨花女子大学校言語教育院	1	2	0	1	0	0	4
	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	2	1	1	0	4	2	10
	フライブルク大学SLI	0	0	0	0	3	0	3
文学部英文学科	ロンドン大学英語音声学セミナー	-	3	-	-	-	-	3

長期留学・交換留学

長期留学実施校

海外の大学との協定をもとに、学生が1学期間または1年間で協定校で学ぶプログラムです。

留学先	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	該当する本学の学期
マレー州立大学IIS (アメリカ)	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	5ヶ月間	8月～12月	後期
			10ヶ月間	8月～5月	出発年度後期、次年度前期
カリフォルニア州立大学チコ校ALCI (アメリカ)			5ヶ月間	3月～7月	前期
			9ヶ月間	3月～12月	前期・後期
カリフォルニア大学リバーサイド校 Extension (アメリカ)			5ヶ月間	3月～9月	前期
			9ヶ月間	3月～12月	前期・後期
ヨーク大学ELI (カナダ)			6ヶ月間	8月～2月	後期
			6ヶ月間	2月～8月	前期
ディーキン大学ELI (オーストラリア)			11ヶ月間	2月～12月	前期・後期
モナシュ大学ELC (オーストラリア)			8ヶ月間	8月～3月	後期
マッコーリー大学ELC (オーストラリア)			7ヶ月間	8月～3月	後期
オークランド工科大学IH (ニュージーランド)			5ヶ月間	3月～7月	前期
			6ヶ月間	2月～7月	前期
北京師範大学漢語文化学院 (中国)			1年間	2月～1月	前期・後期
			6ヶ月間	2月～7月	前期
大連外国語大学漢学院 (中国)			1年間	2月～1月	前期・後期
			7ヶ月間	2月～8月	前期
国立台湾大学文学院語文中心 (台湾)			1年間	2月～2月	前期・後期
			レンヌ 第2大学 CIREFE (フランス)	4ヶ月間	9月～12月
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジIPD (イギリス)			比較文化学部	6ヶ月間	10月～3月
	5ヶ月間	9月～1月		後期	
	5ヶ月間	8月～12月		後期	
	6ヶ月間	9月～2月		後期	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジIPD (イギリス)	短期大学部	短期大学部 英文科	6ヶ月間	10月～3月	後期

交換留学実施校

協定をもとに、1学期間または1年間、大妻女子大学と協定校との間で双方の学生を派遣・受け入れるプログラムです。

留学先	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	該当する本学の学期
国民大学校 (韓国)	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	4ヶ月間	3月～6月	前期
				9月～12月	後期
			10ヶ月間	3月～12月	前期・後期
明知大学校 (韓国)			4ヶ月間	3月～6月	前期
				9月～12月	後期
			10ヶ月間	3月～12月	前期・後期

■長期留学・交換留学参加者数（出発時点が年度内のもの）

2019年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	マレー州立大学（5ヶ月間）	0	2	1	0	1	0	4
	マレー州立大学（10ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	カリフォルニア大学リバーサイド校（5ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
	ディーキン大学	0	1	0	0	1	0	2
	国立台湾大学（7ヶ月間）	0	4	0	0	0	0	4
	国立台湾大学（12ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	国民大学校（交換）（4ヶ月間）	0	0	1	0	0	0	1
比較文化学部	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	3	-	3
	ミュンスター大学	-	-	-	-	1	-	1
	モナシュ大学	-	-	-	-	4	-	4
	国立台湾師範大学	-	-	-	-	1	-	1
短期大学部英文科	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	-	1	1

※2020年3月11日現在

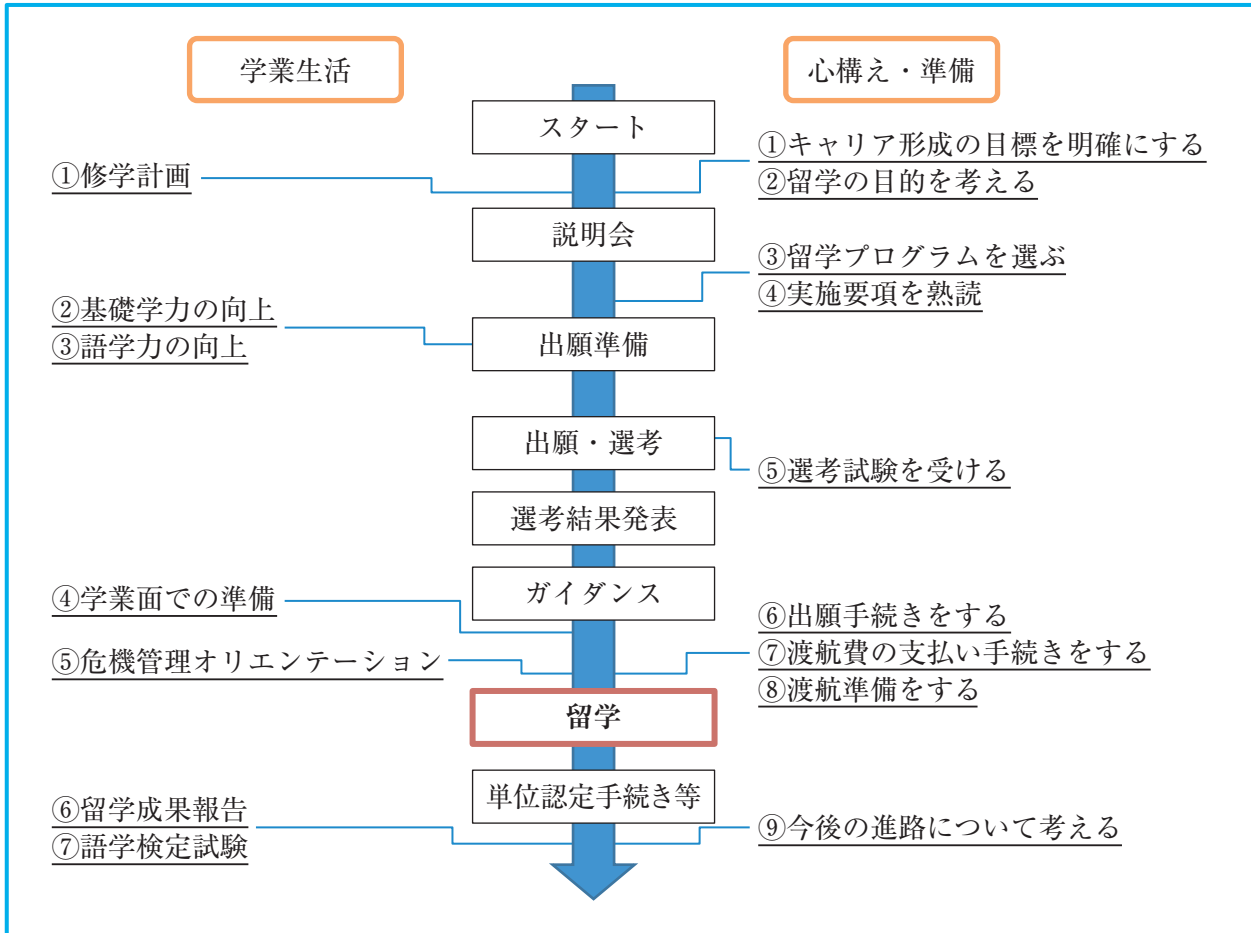
2018年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	マレー州立大学（5ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	カリフォルニア大学リバーサイド校（5ヶ月間）	0	1	0	0	1	0	2
	ディーキン大学	0	2	0	0	0	0	2
	国民大学校（交換）（4ヶ月間）	0	2	0	0	0	0	2
	国民大学校（交換）（10ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	明知大学校（交換）（4ヶ月間）	0	0	1	0	1	0	2
	国立台湾大学（7ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
比較文化学部	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	1	-	1
	ミュンスター大学	-	-	-	-	2	-	2
	モナシュ大学	-	-	-	-	2	-	2
	国立台湾師範大学	-	-	-	-	2	-	2
短期大学部英文科	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	-	1	1

2017年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	マレー州立大学（5ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
	マレー州立大学（10ヶ月間）	1	4	2	0	0	0	7
	カリフォルニア大学リバーサイド校（5ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
	カリフォルニア大学リバーサイド校（9ヶ月間）	0	2	0	0	0	0	2
	ディーキン大学	0	3	0	0	0	0	3
	明知大学校（交換）（4ヶ月間）	0	0	0	0	1	0	1
	セント・ジョセフ大学	0	1	0	0	0	0	1
文学部コミュニケーション学科	国立台湾大学（6ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	国立台湾大学（12ヶ月間）	0	2	0	0	0	0	2
比較文化学部	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	1	-	1
	モナシュ大学	-	-	-	-	8	-	8
	国立台湾師範大学	-	-	-	-	2	-	2
短期大学部英文科	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	-	1	1

■長期留学・交換留学ロードマップ



※多少変更されることがあります。

海外ボランティア

「海外ボランティア」とは、世界各地で開催されるボランティア活動に主体的に参加するプログラムです。

■プログラムの主な内容

- ◇ チャイルドケア：園児のケアや交流を通じて幼児教育の現場を体験
- ◇ 環境保護：環境保護団体が行う植林や生態系整備、ワークショップのサポート
- ◇ アニマルケア（動物NPO支援）：動物保護施設やファームで檻の清掃やエサやりなどのアシスタント
- ◇ 地域サポート：低所得者支援施設やリサイクルショップなどでのアシスタント
- ◇ 教師アシスタント：現地の小学校で英語での授業サポートと教師体験

■海外ボランティアと大妻女子大学

「海外ボランティア」とは、非営利教育団体CIEEが提供するプログラムです。CIEEとは、TOEFL®テストの窓口「国際教育交換協議会日本代表部」の略称です。

このプログラムは、1995年に始まり、年間、約1,000名の参加者があります。参加者のほとんどは、日本各地の大学に在籍する大学生です。

大妻女子大学では、CIEEの職員が、学内で「海外ボランティア」の説明会を行います。18歳以上であれば、特別の参加要件はありません。（一部英語力を求めるプログラムもあります。）参加希望者は、web登録をします。世界中の学生が一斉に登録をするので、希望が叶わない場合もあります。

「海外ボランティア」には、チャイルドケア・環境保護・アニマルケア・地域サポート・教師アシスタントなど、様々な種類があります。大妻女子大学では、ホームステイのあるプログラムを推奨しています。

■CIEE海外ボランティア参加者数

2019年度

国・地域	プログラム	時期	家	文	社	人	比	短	小計
アメリカ	教師アシスタント	春期	1	0	0	0	0	0	1
カナダ	地域サポート	夏期	0	0	1	0	0	0	1
		春期	0	0	1	0	0	0	1
	環境保護	夏期	0	0	1	0	0	0	1
	アニマルケア（動物NPO支援）	春期	0	0	0	1	0	0	1
オーストラリア	チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	0	0	1	0	0	0	1
合計			夏期	1	0	2	0	0	3
			春期	1	0	2	1	0	0



地域サポート、環境保護、アニマルケア（カナダ）

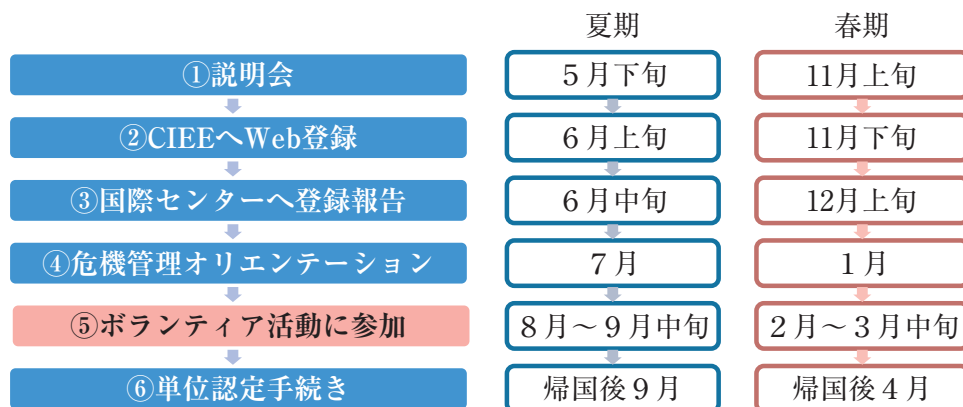
2018年度

国・地域	プログラム	時期	家	文	社	人	比	短	小計
アメリカ	教師アシスタント	春期	1	0	0	0	0	0	1
カナダ	地域サポート	夏期	0	1	0	0	0	0	1
		夏期	0	0	0	0	1	0	1
	アニマルケア (動物NPO支援)	春期	0	0	0	0	1	0	1
オーストラリア	チャイルドケア	夏期	0	0	0	2	0	0	2
		春期	0	2	0	0	1	0	3
ニュージーランド	チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	1	0	0	0	0	0	1
合計		夏期	1	1	0	2	1	0	5
		春期	2	2	0	0	2	0	6

2017年度

国・地域	プログラム	時期	家	文	社	人	比	短	小計
オーストラリア	チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	1	0	2
		春期	1	1	1	1	1	0	5
ニュージーランド	チャイルドケア	夏期	0	1	1	0	1	0	3
		春期	0	1	2	0	0	0	3
アメリカ	教師アシスタント	夏期	0	1	0	0	0	0	1
		春期	1	0	0	0	0	0	1
合計		夏期	1	2	1	0	2	0	6
		春期	2	2	3	1	1	0	9

■年間スケジュール



教師アシスタント（アメリカ）

ACEJ短期語学研修

■ACEJ厳選！短期語学研修プログラムの特徴とは

ACEJでは、現地の語学学校や滞在先周辺的环境、プログラム内容、学校スタッフによるサポート体制などの最新情報をリサーチし、プログラムの総合評価を行っております。さらに、帰国後の参加者によるアンケート結果を参考に、厳選した語学学校への研修プログラムを企画しております。

■ACEJ大学キャンパス語学研修プログラムの特徴とは

姉妹団体JSAFと協定を結ぶ世界トップレベルの大学キャンパスで2～5週間学ぶプログラムです。参加者は原則として留学先大学より語学研修生として受け入れられ、大学キャンパスまたは大学付属施設内で授業を受けることができます。さらに、大学施設の利用が可能であるため、より海外大学の雰囲気を感じられるなど、一般の語学留学にはない多くのメリットがあり、一部、大妻女子大学の単位認定対象プログラムとなっています。

■大学キャンパス語学研修大学一覧（2019年度）

所定の期間に実施される一部のプログラムは単位が認定されます。

夏期

- ✧ アメリカ：シアトルパシフィック大学
- ✧ アイルランド：グリフィスカレッジ
- ✧ イギリス：ロンドン芸術大学
- ✧ マルタ：マルタ大学

春期

- ✧ アメリカ：ワシントン大学、シアトルパシフィック大学、カリフォルニア大学サンディエゴ、ハワイ大学マノア
- ✧ カナダ：トロント大学
- ✧ オーストラリア：ニューサウスウェールズ大学、西オーストラリア大学、クイーンズランド大学
- ✧ ニュージーランド：オークランド大学
- ✧ アイルランド：グリフィスカレッジ
- ✧ イギリス：ロンドン芸術大学
- ✧ マルタ：マルタ大学

■ACEJが出発前から帰国までサポート

- ①無料個別カウンセリングで学校選定（学内またはACEJ高田馬場オフィスで実施）
- ②お申込後は、AIG損保（代理店業務）のご案内や、提携旅行会社を通じた格安航空券の手配など、渡航に関するすべての準備をサポート
- ③持ち物や当日の流れなどについて、一人ひとりに最終確認電話を実施
- ④緊急時には日本語で問い合わせができる24時間安心サポート付き
- ⑤現地ホームステイコーディネーターが、あらかじめ面接や家庭訪問に合格したホストファミリーの中から、参加者の健康面や性格・趣味などの情報を参考にして滞在先を選定
- ⑥現地空港と滞在先間の送迎（往復）付き ※一部、帰りの見送りが無いプログラムもあります。

■JSAFおよびACEJ組織概要

大妻女子大学では、JSAF（ジェイサフ／一般財団法人 日本スタディ・アブロード・ファンデーション）とパートナーシップを締結しています。これにより、海外有名大学への1学期～1学年間の学部留学、その他各種留学プログラムのJSAF／ACEJ国際教育アドバイザーによる説明会や個別相談会を実施しています。また、JSAFの姉妹団体ACEJ（エーシーイージェイ）は、JSAFのGlobal Language Educationの業務として、日本の大学生を中心に、英語圏（アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア

ア、ニュージーランド、マルタ）語学留学の無料手続きサポートを行っています。

■ACEJ短期語学研修参加者数

2019年度

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学（アメリカ）	春期	1	0	0	0	0	0	1
シアトルパシフィック大学（アメリカ）	夏期	1	1	0	0	0	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ（アメリカ）	春期	0	3	1	0	0	0	4
ハワイ大学マノア（アメリカ）	春期	0	2	0	0	0	0	2
トロント大学（カナダ）	春期	0	0	0	2	1	0	3
ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）	春期	0	1	0	0	0	0	1
西オーストラリア大学（オーストラリア）	春期	0	1	0	0	0	0	1
クイーンズランド大学（オーストラリア）	春期	0	0	1	0	0	0	1
オークランド大学（ニュージーランド）	春期	1	0	0	0	0	0	1
マルタ大学（マルタ）	夏期	1	0	0	0	0	0	1
	春期	0	2	0	0	1	0	3
合計	夏期	2	1	0	0	0	0	3
	春期	2	9	2	2	2	0	17

2018年度

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学（アメリカ）	夏期	0	3	0	1	0	0	4
	春期	0	1	0	0	3	0	4
シアトルパシフィック大学（アメリカ）	夏期	0	2	0	0	0	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ（アメリカ）	春期	0	9	0	0	0	0	9
ハワイ大学マノア（アメリカ）	春期	0	1	0	0	0	0	1
ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）	春期	0	1	0	0	0	0	1
トロント大学（カナダ）	夏期	0	1	0	0	1	0	2
	春期	0	6	0	0	0	0	6
ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）	春期	0	0	1	0	0	0	1
西オーストラリア大学（オーストラリア）	春期	0	1	0	0	0	0	1
クイーンズランド大学（オーストラリア）	春期	0	0	0	0	1	0	1
オークランド大学（ニュージーランド）	夏期	0	0	1	0	2	0	3
グリフィスカレッジ（アイルランド）	夏期	0	1	0	0	2	0	3
	春期	0	1	1	1	1	0	4
ロンドン芸術大学（イギリス）	春期	0	0	0	0	1	0	1
合計	夏期	0	7	1	1	5	0	14
	春期	0	20	2	1	6	0	29

2017年度

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学 (アメリカ)	夏期	0	0	0	0	1	0	1
シアトルパシフィック大学 (アメリカ)	夏期	0	1	0	0	1	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ (アメリカ)	春期	0	2	0	0	0	0	2
ブリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)	春期	1	0	0	0	0	0	1
トロント大学 (カナダ)	春期	0	4	1	0	1	0	6
ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	春期	0	0	0	0	1	0	1
オークランド大学 (ニュージーランド)	夏期	1	2	0	0	2	1	6
グリフィスカレッジ (アイルランド)	夏期	0	1	0	0	0	0	1
	春期	0	0	1	0	0	0	1
合計	夏期	1	4	0	0	4	1	10
	春期	1	6	2	0	2	0	11



シアトルパシフィック大学 (アメリカ)



オークランド大学 (ニュージーランド)

ウエスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グラウンドスタッフトレーニングプログラム

留 学 先	対 象	問い合わせ先	実施期間	時 期
エステーエトラベル主催 ウエスタン・シドニー大学英語+キャビン クルー・グラウンドスタッフトレーニングプ ログラム	全学	エステーエトラベル・国際セン ター（国際交流支援グループ）	3 週間	2月～3月

■プログラムの特徴

①英語レベルが気になる方でも安心

トレーニング開始前、2週間のウエスタン・シドニー大学内ランゲージセンターで語学研修。
加えてインターナショナルクラスなので、他の国々の学生とのコミュニケーションを取る事が可能。
語学研修中、トレーニングに必要な英語研修も行われます。

②語学研修中、シドニー観光も含まれます。

③滞在は、ホームステイ

現地の生活習慣なども体験でき、ホストファミリーとの交流も出来ます。

④伝統あるカンタス航空で実際に使用されている施設「QANTAS CENTRE OF EXCELLENCE」での研修

⑤伝統あるカンタス航空のホスピタリティを学ぶことができます。

⑥キャビンクルー業務だけでなく、人気のグラウンドスタッフ業務も体験。

⑦全クラスのミールサービスを体験

⑧2つのCertificates（語学研修とカンタス航空の修了証）取得

⑨一貫して英語でのレッスン

■研修先について

ウエスタン・シドニー大学

シドニーに6つのキャンパスを持つ大規模な大学で約30,000名の学生が在籍しています。留学生も多く、世界約70カ国から3,000名を超える留学生が通っています。

特に人気のあるコースには通訳・翻訳関係があり、国家通訳・翻訳者認定資格が取得できます。近代的な図書館、コンピューターラボ、各種スポーツ施設等、大学の施設も優れています。

カンタス航空（Qantas Airways）

カンタス航空は、南半球最大手の航空会社で、世界で3番目に古い伝統ある航空会社です。

航空会社の各種サービスをランキングする機関（Airline Ratings）が発表する、2017年度最も安全な航空会社のトップに選ばれ、同航空会社は、トップに4年連続輝いています。

■ウエスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グランドスタッフトレーニングプログラム参加者数
2019年度

プログラム名	所属別参加者数						合計
	家	文	社	人	比	短	
ウエスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グランドスタッフトレーニングプログラム	1	1	0	0	0	0	2



海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム

留 学 先	対 象	問い合わせ先	実施期間	時 期
早稲田アカデミックソリューション主催 海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム（タイ、ブルネイ、カンボジア、マレーシア、ベトナム、フィリピン）	全学	早稲田アカデミックソリューション （国際交流支援グループ）	2週間	2月～3月

■プログラムの特徴

- ①机上の知識だけではない「生きた知識」を身につける学習方法「フィールドスタディ」に、課題設定型学習要素を加えた、グローバル社会に役立つ海外研修プログラム。
- ②各国にそれぞれ異なるオリジナリティあふれる課題を自ら発見・設定し、参加学生を中心にその解決策を探ります。その過程で問題解決へのアプローチ方法を身につけることができます。
- ③現地大学や日系企業訪問、インターンシップ、ボランティア活動などの充実したフィールドワーク。
- ④他大学との合同研修で、新たな出会いといつもと違う学び体験ができます。
- ⑤国内での事前・事後研修により、研修効果を高めます。

国際センター受け入れ留学生について

大妻女子大学では、正規に入学する留学生の他に、大学間交流協定に基づき、所属する大学に在籍しつつ概ね半年から1年間滞在する招致留学生を受け入れ、日本語や日本文化を学修するための「日本語・日本事情」などの講座を国際センターが開設しています。

また、国際センターでは大妻女子大学で学ぶすべての留学生と本学学生との交流推進のために留学生交流会などのイベントを実施しています。

■国際センター所属留学生受け入れ数

2019年度

大学	受入数
明知大学校（韓国）	3
雲南大学（中国）	5
合計	8

2018年度

大学	受入数
国民大学校（韓国）	1
明知大学校（韓国）	2
合計	3

2017年度

大学	受入数
明知大学校（韓国）	3
雲南大学（中国）	1
合計	4



明知大学校留学生修了式



雲南大学留学生修了式

■外国人留学生受け入れ数

2019年度

国・地域	正規留学生				合計
	大学	短期大学部	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	
中国	5	1	0	1	7
台湾	0	0	1	0	1
韓国	2	0	0	0	2
ベトナム	2	0	0	0	2
合計	9	1	1	1	12

2018年度

国・地域	正規留学生				合計
	大学	短期大学部	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	
中国	3	1	2	1	7
台湾	0	0	1	0	1
韓国	2	0	0	0	2
ベトナム	1	0	0	0	1
合計	6	1	3	1	11

2017年度

国・地域	正規留学生			科目等履修生・ 聴講生	合計
	大学	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	大学	
中国	2	2	1	1	6
台湾	0	1	0	0	1
韓国	1	0	0	0	1
合計	3	3	1	1	8

安全と危機管理

1. 留学前の準備

①留学国・地域の選択と情報収集

留学国・地域の治安情勢、犯罪傾向、衛生状況、医療情報、風俗、習慣、現地の法令・法律などの情報収集は大変重要です。以下のサイト等で最新の情報収集を行ってください。



外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

電話：外務省領事サービスセンター（海外安全担当） 03-5501-8162

利用時間 9：00-17：00（外務省閉庁日を除く）



外務省：「海外安全ホームページ」海外安全虎の巻

https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/tora_2018.pdf



世界の医療事情

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>



厚生労働省の「海外で健康に過ごすために」

<https://www.forth.go.jp/>

②海外旅行保険と危機管理プログラム

海外旅行保険への加入は海外で自身の身を守るため必ず行ってください。なおクレジットカード付帯の保険は保証内容に制限があることや、全ての手続きを代理店ではなく自分で行わなければならないなど、お薦めできません。

危機管理プログラムは危機管理会社が、学生・保護者・派遣元および派遣先大学・保険会社を繋いで危機に備えるプログラムです。

●学研災付帯海外留学保険

学研災は、全国1,096大学、約280万人の学生が加入する標準的な傷害保険です。海外に留学する場合、学研災に付帯し疾病や救援者費用と留學生賠償責任を充実させています（「学研災付帯海学」は、学研災付帯海外留学保険の略称です。）本学学生であれば個人の留学であっても学研災付帯海外留学保険に加入することができます。詳細は国際センター（国際交流支援グループ）まで問合せください。

●安心サポートデスク

国際センターが主催するプログラムに参加する場合には、必ずアイラック安心サポートデスクに加入することになっています。留学中に緊急事態や深刻なトラブルに巻き込まれた場合に、24時間365日利用できる緊急支援窓口を提供します。

2. 派遣前・派遣中のプログラム中止や帰国勧告について

外務省では、上記「海外安全ホームページ<https://www.anzen.mofa.go.jp/>」で、各国・地域の最新の治安情勢を以下のように4段階に大別しております。本学では、出発時や留学中に以下の勧告が出ている地域への留学は、渡航を延期、もしくは留学の中止および帰国勧告を検討する場合があります。

●『レベル1：十分注意してください』

その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。

●『レベル2：不要不急の渡航は止めてください』

その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。

●『レベル3：渡航は止めてください（渡航中止勧告）』

その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在し

ている日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)

●『レベル4：退避してください。渡航は止めてください（退避勧告）』

その国・地域へ滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。

3. 留学中の備え

留学中の所在を常に明らかにするため、日本大使館または総領事館に必ず「在留届」の提出や外務省への「たびレジ」登録を行って下さい。自然災害や事件・事故、テロなど万が一の事態が起きた場合に大使館・領事館から救援活動や緊急連絡、情報提供を受けることができます。

①在留届

旅券法第16条により、外国に住所又は居所を定めて3か月以上滞在する日本人は、その住所又は居所を管轄する日本の大使館又は総領事館（在外公館）に「在留届」を提出するよう義務付けられています。



在留届電子届出システム

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

②「たびレジ」

3ヶ月未満の滞在の場合は「たびレジ」に登録します。滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などが受け取れるシステムです。



「たびレジ」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

◎海外での予期しないトラブルに巻き込まれた時に解決するのは自分自身です。上記の対策をした上で、自らの責任で対処できる主体性のある学生であることが求められます。

留学お役立ち情報

留学に関連する情報をまとめています。

〈国別留学情報〉



アメリカンセンターJapan

東京、札幌、大阪、名古屋、福岡のアメリカンセンターではアドバイザーに相談ができます（訪問の際には事前予約が必要）。電話やEメールでの相談も行っています。

(<https://americancenterjapan.com/>)



日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）

日米教育委員会は日米両政府からの拠出金により運営され、日米の人物交流による相互理解の促進を目的に、フルブライト奨学金事業、アメリカ留学に関する相談サービス事業を行っています。(<https://www.fulbright.jp/>)



駐日カナダ大使館（カナダ留学）

大学・大学院留学や英語・フランス語語学研修などカナダ留学の概要を載せています。留学フェアや説明会の案内もあります。

(<https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japan/study-etudie/index.aspx?lang=jpn>)



オーストラリア政府公式留学情報ウェブサイト—Study in Australia

教育システム、中・高校、語学学校、専門学校、大学などの留学情報、学校検索、奨学金情報などを網羅しています。(<https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese>)



Study in Korea

韓国の公式留学サイト。韓国の教育情報、留学案内、大学情報、生活情報などを提供。コミュニティーの欄にはオンライン留学相談室の案内もあります。オンライン・エデュケーションフェアも行っています。(http://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do)



ブリティッシュ・カウンシル

ブリティッシュ・カウンシルは英国（イギリス）の公的な国際文化交流機関であり、各国における英語の普及やイギリスと諸外国の間の教育・文化交流を目的としています。(https://www.britishcouncil.jp/)



ドイツ学術交流会（DAAD日本）

DAAD（ドイツ学術交流会）の日本語サイト。ドイツへの留学全般に関する情報を提供しています。奨学金検索もできます。(https://www.daad.jp/ja/)



CampusFranceフランス政府留学局・日本支局

フランスの高等教育機関への留学を促進するためのフランス政府による公式機関CampusFranceのウェブサイト。留学情報全般を扱っています。奨学金と教育機関の検索エンジンもあります。3ヶ月以上の留学の場合CampusFranceでの手続きが義務付けられています。ホーム>資料ダウンロードからフランス留学ガイドChoisir la Franceがダウンロードできます。(https://www.japon.campusfrance.org/ja)

〈奨学金に関する情報〉



日本学生支援機構ウェブサイト「海外留学支援サイト」

公的機関である日本学生支援機構（JASSO）が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。(http://ryugaku.jasso.go.jp/)



日本学生支援機構「海外留学のための奨学金」

日本学生支援機構、外国政府、地方自治体、民間団体などによる海外留学奨学金情報を掲載しています。(http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/)



「海外留学奨学金パンフレット」

海外留学希望者を対象とした奨学金のリストを掲載しています。(http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/)



「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。

2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し”産業界を中心に社会で求められる人材”、”世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”へと育成されます。(https://www.tobitate.mext.go.jp/)

〈語学試験情報〉

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

英語圏の大学等高等教育機関、一部高校への留学希望者を対象とした英語能力試験。



〈実施機関〉 ETS (Educational Testing Service)
(<http://www.ets.org/toefl>)



〈国内問合せ先〉 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部
(<https://www.cieej.or.jp/>)



TOEFL iBT®
プロメトリック (株) (<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>)

IELTSTM (International English Language Testing System)

英語圏 (主に英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド) の大学等高等教育機関への留学希望者の英語力を評価する試験。



〈実施機関〉 IELTS (<https://www.ielts.org/>)



〈国内問合せ先〉 (公財) 日本英語検定協会 (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>)



(一財) 日本スタディ・アブロード・ファンデーション (<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>)

その他言語



HSK (漢語水平考試)
中国政府が認定する資格です。(<http://www.hskj.jp/>)



韓国語能力試験 (TOPIK)
韓国語能力試験は、大韓民国政府 (教育省) が認定・実施する唯一の韓国語 (ハングル) 試験です。(<http://www.kref.or.jp/examination>)

特別講座 / 国際交流イベント

国際センターでは、留学そのものがより意義深いものとなるよう、事前・事後の研修としてさまざまな特別講座を開設、学生自身の語学力の把握、留学への目的意識の明確化、異文化への対応力養成、留学経験を活かしたキャリア形成などについて学ぶ機会を提供しています。

なお、特別講座は、広く学生一般に開放し、学内の国際化の意識・意欲の喚起も目的としています。

〈国内留学体験〉

◇ British Hills イギリス文化・英語研修

国内の英語研修施設にて行う、3泊4日の国内留学体験です。

◇ レイクランド大学ジャパン短期英語集中プログラム

레이크ランド大学ジャパンにて行う、9日間の短期集中プログラムです。

〈国際交流・国際理解〉

◇ 訪日外国人に関しての理解促進を図る企画

「インバウンド旅行者の動向とインバウンドの多様性」講演会、「ハラルについて」講演会+ハラル食品実地調査などを行います。

◇ ホテルプロトコール・マナー講座

「ホテルの賓客と国際儀礼 (プロトコール) 講演」などを通して、国際交流の場において必要とされる知識やマナーを学びます。

◇ 「留学生交流会」の実施

国外からの留学生と本学学生の交流推進を図ります。

◇ 海外大学からのインターンシップ生の受け入れ

イギリスのロンドン大学UCL校から学部生、大学院生2名を約1ヶ月間、インターン生として招致し、英語クラスのティーチング・アシスタントや海外留学促進セミナー／留学事前準備語学セミナー等の講師を務めてもらいます。

◇ 留学生・日本人学生による日本語・英語スピーチコンテスト

留学生による日本語のスピーチ、日本人学生による英語のスピーチを行います。

〈留学準備〉

◇ 危機管理オリエンテーション

海外での安全に関する一般的な心構えとともに、各研修先の国・地域に特化した危険情報・事例（事件事故、感染症、テロ等）の紹介およびその対処法を学びます。

◇ 女性向け危機管理オリエンテーション

女性が特に気をつけるべき事柄、危険情報、事例の紹介およびその対処法を学びます。

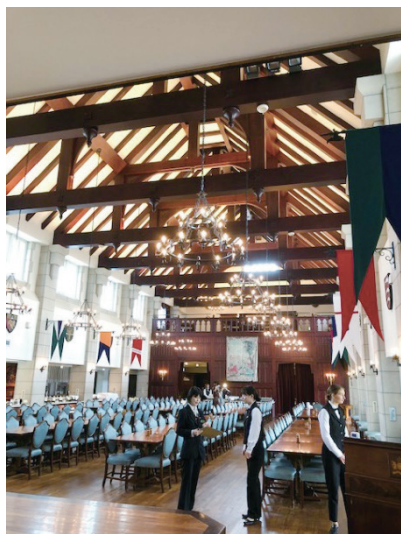
◇ トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム支援

官民協働で取り組む海外留学支援制度への申請を支援しています。

◇ 国際センター紹介、留学準備講座

国際センターの活動や、留学プログラムについての情報を提供しています。

※2020年度実施予定の概要ですが、状況によっては実施しない場合があります。



British Hills イギリス文化・英語研修



留学生交流会

教員紹介

国際センター専任教員

趙 方任 先生（中国語圏担当、日本事情科目担当）

今まで、儒家思想、東アジア文化論、中国古典文化、中国語などの科目を教えてきたとともに、国際交流活動にも数多く携えてきました。国際センターで皆さんが異文化体験をよりスムーズにできるようにベストを尽くしたいと思います。

伊藤 みちる 先生（英語圏担当、日本語科目担当）

英語の勉強法、留学先選び、留学準備、留学後の語学力を保つ方法、留学経験を活かした就職、海外ボランティア、海外旅行先選びなど、何の相談でもお気軽にお越しください。

森 功次 先生（フランス語圏担当、日本事情科目担当）

他国の文化を理解するには、自国の文化とどこが似ていてどこが違っているかを考えることが大事です。言葉の感覚を洗練させることは、そのための大事なステップになります。哲学・美学の視点から、学生の方々の異文化理解をお手伝いできればと思います。

海外留学支援制度（協定派遣）奨学金受給者の留学体験記（一部抜粋）

氏名：荒井 理沙（文学部 英文学科）

研修・留学先：マレー州立大学 長期留学（アメリカ） 2019年8～12月

約4ヶ月という間でしたが、私の人生は留学によって大きく変わりました。国籍や人種が違う人達との交流を通して、数えきれないほどの気づきや経験をすることができました。初めの頃は英語が上手く伝わらずに落ち込み、ネイティブの友達との輪に入ることも億劫でした。しかし、ノンネイティブの友達はたとえ文法や単語が間違えていたとしても、臆することなく自信を持って英語を話していました。その姿を見て、私はとにかく自分の持っている最大限の力で伝えようとする大切さを感じました。「私はこう思う、こう考える」たった一言でも発言すること、勇気を出して挑戦することはとても大切です。そこから生まれる会話もあり、それらの積み重ねは自信となって後からついてきます。私も毎日会話を続けるうちに、以前よりも積極的に英語を話すことができました。また、様々な国の友達と話すうちに異文化や他言語を学ぶことができ、より他言語の習得や異文化理解への興味を持ちました。

これらの感想はほんの一例で、他にも留学前の自分には想像ができないほどの素晴らしい思い出が沢山あります。それらはこれからの私の人生に大きなプラスになると自信を持って言えます。留学先での沢山の素敵な出逢いを今後忘れることはないでしょう。最後に、快く留学を了承し、笑顔で見送ってくれた両親や留学を後押ししてくれた先生や友人には言葉にできないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



氏名：渡邊 七都美（文学部 英文学科）

研修・留学先：カリフォルニア大学リバーサイド校 長期留学（アメリカ）2019年3～9月

私はアメリカのCalifornia州立大学Riverside校に約6か月間在籍していました。Riverside校にはアメリカ人や他国から集まった生徒達の通うメインキャンパスと、英語を第二言語として学ぶ、(基本的には)留学生向けであるエクステンションがあります。私はエクステンションにて学んでいました。

まず驚いたのが、生徒の多様性です。多く在籍していたのは中国人ですが、他にも韓国人、サウジアラビア人、クウェート人、ロシア人、トルコ人、アフガニスタン人、イタリア人なども在籍していました。また私たちのような若い学生ばかりではなく、既に働いていて仕事で必要だから学んでいたり、趣味で通っていたり、みんな多種多様な年齢層と目的で英語を学びに来ていました。50歳や60歳を超えてもなお衰えない学習意欲には、とても感心させられました。

留学を通して、自分の中でも少しずつ意識が変わっていきました。遠い異国の地で一人、何か困ったことがあってもその場ですぐに助けてくれる家族や仲の良い友達はいません。新しく友人を作るのにも、まず自分から話しかけなければ何も変わりません。そうして生活しているうちに、「何事も自分から行動しなければならない」「日本に居た時と同じ感覚でいてはいけない」と思うようになり、初めは不慣れだった生活にも段々と適応できるようになってきました。約6か月間のアメリカ生活の中で、恐れぬチャレンジ精神というものが徐々に芽生えてくるのを感じました。

またアメリカでは、自分の意見というものを常に求められます。授業内で「あなたはどう思った?」という意見交換の場が毎回設けられ、各々の考えを共有し合います。日本人同士だとお互いの同調が多かったのですが、「それはこうじゃない?」と反対の意見を提示してくる人もいて、そういう見方もできるのか、と納得させられる場面が多くありました。国によってディスカッションの臨み方に違いはありましたが力強く主張する人も多く、ただ単に同意するだけでなく、自分の意見を持つこと、そして積極的に共有することで様々な考え方に触れることができます。これは日本では中々体験しづらいことではないかと思えます。

全く不慣れな新しい環境の中で挑戦すること、それは自分自身を変えることに大いにつながります。私も最初はとても緊張して、スーパーで買い物するのに少し怖がっていたのですが、段々と慣れてきて店員さんと談笑できるようにもなった自分に成長を感じ、とても嬉しかったです。自分でもとても有意義な留学生活であったと思いました。



氏名：佐野 綺（比較文化学部 比較文化学科）

研修・留学先：カリフォルニア大学リバーサイド校 長期留学（アメリカ）2019年3～9月

私はCalifornia大学Riverside校に半年程留学していました。前半3か月はホームステイ、後半3か月を学生寮で過ごしました。

ホームステイ先はメキシコ系アメリカ人のホストマザーのみでしたが、マザーにはお子さんとお孫さんがたくさんいたのでパーティーやお孫さんを預かっている時はとても賑やかでした。私は自分よりも年下の子供と一緒に遊んだ経験がほとんどなかったので、予期せぬ行動をする子供への接し方は大変勉強になりました。親戚で集まった時に特に感じたことは自分の子供かあまり関係なく抱っこしたり話し相手になっている大人がほとんどだということです。日本ではあまり見ない光景だったと思います。個人的に驚いたこととしては自分の両親とホストマザーの考え方のギャップです。私の両親は心配で危ない目に会わせたくない石橋を叩くタイプですが、ホストマザーの家庭は子供のやりたいように自由に適度に放任していて驚きました。メキシコ系の家庭ということもありほとんどスペイン語のテレビを見ていて週に2回くらい英語のテレビを見ていました。親戚やホストマザーの友人と集まった時の会話は英語とスペイン語をミックスで繰り広げられて流石についていけませんでした。2年間学部でスペイン語を履修していたおかげで苦に感じることはなく過ごすことができました。

ホームステイ中にホストマザーの友人達との短期旅行に同行する機会がありました。キリスト教徒の勉強会のようなものだったようですが、急遽一緒に行くことになったこともあり現地に着くまで何をしにどこへ行くのかよくわからないままで日本ではそうそうありえないことだと驚きました。そこで会った方は積極的に話しかけて英語を話す機会をたくさん作ってくれてすぐに打ち解けることができ不安が解消されました。旅行を一緒にしたホストマザーの友人の1人のお宅には日本帰国の前に一人でバスを乗り継いで数日間ホームステイしました。海外で片道約4時間の冒険は初めてで乗り継ぎの失敗で2時間ロスした時は焦りましたが何とか辿り着けてアメリカ人の恩と自己成長を感じました。ホストマザーとは全く異なる背景を持っている方で本当に色々な方がいると改めて感じました。この時に出会った方数名は留学が終了した今でも時々連絡を取り合っています。



寮は5人部屋の中の2人部屋にいました。学期の区切りが中途半端な時に移動したので最初の2週間は多国籍なルームメイトでした。向かいの部屋にいたメキシコ系アメリカ人の大学生とは初めて会ったその日にとっても仲良くなりタピオカ片手に深夜まで語り合いました。日本ではあまり起こり得ないことと思います。それからすぐにルームメイト全員が帰国や帰省でいなくなり、2週間後日本人のルームメイトが、3週間後には中国人のルームメイトが来ました。中国人のルームメイトは学校が始まったその日に友達になった人を男女問わず部屋に呼んで料理を振る舞っていてパーティー状態だったので慣習の差を感じまし

た。日本人のルームメイトとはどちらかがトラブルがあったらお互いに助け合い、食材をシェアして和気藹々と過ごしました。

学校は併設されている語学学校に通っていました。午前中は文法を中心に英語4技能強化の為の授業、午後は選択授業でした。2週間に一回テスト、プレゼン、エッセイの提出がありました。教材はTED Talkで、普段そんなに英語を使っていなかった私はかなり徹底的に鍛えられたと思います。日本人は時期によっては多かったですが多国籍でとても刺激的でした。アラビア系の方は遅刻常習犯も多かったですが積極的に納得いくまで質問したり時に先生にジョークを言ってクラスのみんが笑って和んでいました。先生方も色々な背景を持つ方がいて名前からは想像できない見た目の先生、中には日系4世で日本語がわかる先生もいました。オプションの週末プチ旅行や大学でのイベントにも参加しました。普段授業が一緒ではない友達ができたり、友人関係がさらに深まったりとても良い経験でした。この時に出会った友人達とは絶対に日本か相手の国で会おうと意気投合しました。

旅にアクシデントはつきものですが英語以上に得られるプラスがあります。皆さんも是非留学という大冒険を試してみてください！

氏名：長野 汐里（文学部 英語英文学科）

研修・留学先：ディーキン大学 長期留学（オーストラリア）2019年2～12月

オーストラリアのディーキン大学に11か月間留学してきました。海外での長期滞在は初めてだったので出発前は不安でしたが、周りの人に助けをもらいながら充実した留学生活を送ることができました。二月に出発し、六月までは学部留学に備えてディーキン大学付属の語学学校に通いました。語学学校に通わず初めから大学に通うプログラムもあると思いますが、学習面でも生活面でも学部に移る前に語学学校に通ってよかったと思います。学習面では、段階的に授業のレベルが上がっていったので学部での授業のレベルに適応するための負担が少なかったように思います。

生活面では、メルボルンでの生活が長い留学生と知り合うことができたので、到着してからはしばらくは近くのスーパーやショッピングモール、休日の過ごし方など様々なことを教えてもらいとても助かりました。また、授業が週五日ありクラスメイトと関わる機会がたくさんあったので、いろいろな国籍の友達と知り合う良い機会になったと思います。

学部に移ってからは、授業が各科目週一日になったので授業のない日は基本的に予習と課題に取り組む毎日でした。この期間が一番つらい時期でしたが、単位を落とすことなく納得のいく成績を修めることができたので、やり遂げられたという自信を持つことができ、英語力はもちろん精神的な面でも成長することができたと思います。

留学前は関わることがなかった国籍、専攻、職業の人と関わることで、異なる性質を持った相手を受け入れることの大切さや自分も相手に受け入れてもらっていることを実感し、学問的な面でも生活面でも様々な視点から物事を見るよう心掛けるようになりました。今回の留学で得た経験を活かし、今後も語学力の向上に努めたいと思います。

氏名：関 麻穂（社会情報学部 社会情報学科）

研修・留学先：国民大学校 交換留学（韓国）2019年8～12月

韓国・国民大学に4か月間留学しました。自分が専攻している建築やインテリアについてより詳しく勉強したかったため、建築学科に所属して勉強しました。授業はすべて英語で進められるため予習は大変でしたが、基礎をもう一度英語で学びなおすことでより理解が深まりました。建築学科では日本人は一人でしたが、グループ課題やプレゼンなどをきっかけにクラスメイトと仲良くなりました。韓国の学生はアルバイトや遊びより勉強第一で、夜中の10時を過ぎても授業があるクラスもあり、私も彼らを見て勉強に対しての意識が変わりました。

一番の思い出はルームメイトと過ごした時間です。中国人の現地学生、中国とイギリスからの留学生の

4人で4か月過ごしました。国籍も育った環境も異なるルームメイトと過ごして、沢山のことを学びました。文化の違いや、日本では当たり前なのが他の国では当たり前でないこと。そして自分の思いを外国語で伝えることの難しさを、身をもって感じました。最初は日本人1人で不安でしたが、彼女たちのおかげでとても楽しく留学生活を送れました。狭い部屋でデリバリーしたチキンを囲み、悩みごとやたわいのない話をした時間は私の中でとても楽しい時間でした。

国民大学校はとても広大なキャンパスでした。カフェやレストランはもちろん、美容室や花屋、郵便局に銀行まであります。そして何よりも緑が多く、自然の多いキャンパスでのびのびと勉強できました。少し離れているところには韓国の伝統住宅が保存されている場所があり、建物の勉強をしている私にとってとても環境も良い場所でした。

一歩踏み出してみると様々な世界が広がっています。でも私の場合一歩踏み出すまでがとても勇気がいりました。どんな準備をしたらいいのか。何に気を付けたらいいのか。しかし渡韓して様々な人に助けられ、最初感じていた不安もすぐに無くなり、充実した留学生活を送ることが出来ました。



海外研修・留学プログラム 参加者の声（一部抜粋）



研修・留学先：ポートランド州立大学 短期語学研修（アメリカ）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 授業内でボランティア活動をいくつか経験することができたこと。例えば、貧しい子供たちに洋服や靴、おもちゃなどを届けるお手伝いや、現地の高校に行き清掃活動を行ったり、地域から集めた使わない本を収集している場所で本を一つ一つ手入れをするような活動ができたことはとても有意義だった。
- 生の英語に触れながら実際に大学で授業を受けたり、サステナビリティについて学ぶことができたこと。また、アクティビティを通して自分で英語を使う能力を養うことができたこと。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- クラスでの授業、キャンパスツアー、外部講師による講義、ボランティア活動、プレゼンテーションの準備を通して、主に「持続可能な都市・世界へ向けた取り組み」について学んだ。授業では、クラスメイトとの会話や発音の練習、リスニング、ディクテーションなどを通じて英語を学んだ。また、プレゼンテーション前には、プレゼンテーションの仕方についての講義を受け、個別にアドバイスなどももらった。生活面においては、基本的には自己管理を心がけたが、それだけでは難しく、特に食事の面では、同じ部屋の人や大妻の人と、食材や調理器具を共有して、助け合うことが多かった。
- 自転車に乗ってポートランドを回ったり、ハイキングをしたりしました。他にも土曜日に大学内で行われているマーケットやアウトレットに行きました。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 新しいことに挑戦する楽しさと、それによって、自分の興味の幅を広げることができると知ったこと。また、環境問題というひとつの問題に対し、世界中がつながり、取り組んでいるのだと実感できたこと。
- 異国で環境の変化に適応し、自ら行動し、周りの人たちと協力、助け合い、生活することで、少し自信と勇気を得ることができた。それは、日本にいたら感じることのなかった感覚だと思う。留学という形で勉強をしつつ自分の好きな場所に赴いてみるのができたので全身でアメリカの暮らしを堪能した。
- 英語で発信する能力、また海外で暮らすにあたり日本との文化の違いを実際に感じる事ができたこと。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 今まで以上に英語の必要性を強く感じたので、積極的に英語の勉強に力を入れようと思う。また、海外での仕事に興味が出てきたので、より一層英語の勉強と、海外に目を向けて生活していこうと考えている。
- 私の就職先は英語を使う機会がとても多いので今回の留学を通して身につけた外国人の方に積極的に話す勇気は大きな力になると思います。また語学だけでなく留学で参加したボランティア活動を通して人の力になることができる喜びを感じたので日本に帰ってきてからも何か助けになることに参加をし、人々の支えになりたいと感じました。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- どこのお店に入っても、挨拶を欠かさないとや出る時もみんな「ありがとう」と言ってから出ることに驚いた。とても素晴らしい文化だと思った。
- 根本的に考え方が違いました。日本では場の空気でも物事を考えることが多いと思いますが、留学先では自分から物を伝えていかないと相手に伝えることができないので、苦手だと思わず積極的に自分から考え方を伝える必要がありました。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 環境も人も食べ物も何をとっても素晴らしい街で、本当に住みたい街全米でナンバー1だということがわかった。ぜひ行ってそれを自分で感じてきてほしいと思う。
- 英語力がなくても、留学先の学校の授業の内容でコミュニケーション力が上がり、自然と英語力も上がっていくので頑張ってください。

研修・留学先：ブリティッシュ・コロンビア大学 短期語学研修（カナダ）



研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 様々な人達と関わり、沢山話をした事。人種や年齢、性別、大学関係なく多くの人とコミュニケーションをとれた事。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- クラスメイトと相談をしながら問いに答えたり、グループになってディスカッションをしたり、発音を確認したり、外に出てインタビューをしてその結果をもとにグラフを作って皆の前で発表をしたりした。また、1人ずつ自分の宝物についてプレゼンテーションを行った。他のクラスと合同の授業も受けた。お互いに英語で教え合った。授業内でツアーがあり、ガイドの説明を聞きとったり、クイズラリーをしたりした。授業以外では、買い物や観光などで現地の人々と英語で会話をする機会が沢山あった。ホームステイ先でも主に食事を一緒にする時、英語でやりとりをする機会があった。上手く英語で言えない時があっても、ジェスチャーなどを入れて伝えようと努めた。
- 私が授業を受けたELIという校舎では、"English Only" というルールがあり母国語を話すことが禁止されていました。そのため伝えたいことが友達に上手く伝わらず大変でした。授業は、グループワークが多かったです。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- コミュニケーション力、語学力、自信、自分を見つめ直す機会。大切な友達、思い出。多くの気づき（様々

な価値観、楽しみながら学ぶことの重要性)。日本を客観的に見ることが出来た。また、自分で困難を克服すること。

- 研修が始まった頃は英語が全く話せない自分が恥ずかしくてあまり言葉を発さずにいました。クラスの人とも仲良くなり、自分の意見が相手に伝わっていると実感するようになるとその恥ずかしさが無くなり他クラスの前での発表もあまり緊張しなくなりました。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 自分の興味のあるものは積極的に参加し、より多くの人と関わること。資格やサークルなど多くの事柄に挑戦していきたい。また、日本を訪れている外国人の方で困っている人がいたら助けたい。
- この研修を通じて自身の英語力の低さを痛感しました。他大学から同学年の生徒が多くこのプログラムに参加していました。中には英語を流暢に話している生徒がいました。自分ももっと英語の勉強を頑張らなければならないと思いました。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 日本よりもカナダは水を大切にしていると思いました。ホームステイ先のシャワー時間が10分でした。また、友達の家は洗濯が1週間に1回と聞きました。日本は蛇口をひねればお湯が永遠に出ていますが、カナダではお湯をタンクに溜めているのでお湯に限りがあることを初めて知りました。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 留学に参加するにあたって、自分の中で目標を立てることが大切だと思う。何のために行くのか目的を明確にすれば、より有意義なものになる。苦勞することもあるが、日本に居て気付かない新たな発見がある。絶対貴重な体験になる。



研修・留学先：ディーキン大学 短期語学研修（オーストラリア）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 自分のレベルに合ったクラスで様々なクラスの人と授業を受けたことが最も有意義な時間だった。国籍の違う友人もできて、英語を勉強する中でたくさんの刺激を貰うことができた。
- ホームステイを通してオーストラリアの文化だけでなくアジアの文化についても学ぶことができたこと。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 午前の授業2時間、その後1時間の自習をして昼食後に2時間授業というスケジュールでした。午前中は主に教科書に沿って文法や文構造について学び、午後はエッセー書いたり、班ごとに違う社会的テーマでストーリーを作り、セリフを考え写真を撮り、アフレコまで行うプロジェクトを進めたりしていました。放課後はクラスの学生とショッピングモールに行ったり、寮に住んでいる友達の部屋にお邪魔したり、部屋にこもることなく有意義な時間を過ごすことができました。
- 異なる言語の人と日替わりでペアを組み、先生から出されたテーマに沿ってペアワークをした。例えば自分の国のお祝い事や食についての紹介をしたり、お互いの写真を見せ合ったりした。また私のクラスでは3週間のうちに2度の遠足があり、先生を含めたクラスメイト全員で学校からcityへ行って、建物を見てその歴史などを直接肌で感じながら学ぶことができた。毎日課題を出されて、家に帰ってからも自分自身の力で英語力を伸ばすことができた。
- 月曜日～火曜日、水曜日～金曜日で先生が代わり、週の前半は配布された教科書を使った授業を受けた。後半はディスカッションなど、学生が主体となる内容だった。昼休みには自習時間が含まれており、各々の課題に取り組んだり、本を借りて読むこともあった。校外学習では現地の人と話したり、外国籍クラスメイトと一緒に行動する場面もありリスニング力の向上に繋がったと思う。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 自分自身で考えて行動して、一生懸命物事に取り組むことの楽しさや、人の温かさ、英語を母語としない人たちとの英語を用いて会話することの面白さ。これから生きていく上で大切なものをこの3週間で

得ることができたと思う。

- 留学先での生活は一人で行動しなければならないことが多く、全ての事が自己責任であったので、周りに気を配りながら積極的に行動する大切さを学んだ。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 英語を聞く感覚、話す感覚を忘れないように継続させていきたいです。また、私が困っているときに現地の方々为本当に親切にいろいろなことを教えてくれたので、日本に來ている海外の方を積極的にお手伝いできればと思っています。
- これから生活していく中でも人としての常識や、日本よりも良い海外の部分を吸収していきたい。
- 英語検定やTOEICなど各種試験を受験し、留学で培った語学力を見える形で残したい。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- Cityでは日本と同様に治安はとても良く、他人とも目が合えばこちらに笑顔を向けてくれ、バスを降りるときには必ず運転手にお礼を言う。私たちも見習いたいとても素敵なことだと思った。



研修・留学先：国立台湾師範大学 短期語学研修（台湾）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 中国語に対する意識が高い人ばかりいる環境に居られたことです。その空気に感化され、私ももっとレベルの高い会話ができるようになりたい、頑張らなくては、と思えました。またいろいろな地域、様々な国籍の友人ができた事も有意義だったと感じます。
- 最も有意義だったことは、文化授業です。特に台湾茶芸はとても貴重な体験でした。日本茶とは香りや味が違っていました。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 授業は会話中心で、すべて中国語で行われた。わからない部分は周りと協力したり、インターネットを使ったりして説明してくれた。授業の中では習った単語や文法を使ってゲームをした。ゲームをして実際に使ったので、覚えやすかった。授業以外では日本と違った台湾の生活習慣などについて感じる事ができた。特に食生活の面では、台湾は外食文化が強く、テイクアウトのお店や軽食が買える店が多く、コンビニよりもそちらに行って買うことが多かった。
- 少人数（7～8人）での授業だったので、一人ひとりが内容を理解しながら授業を受けることができた。生活面では、中国語で会話しなければならない状況になるため、自分から積極的に現地の人々と会話することができた。
- 私のクラスでは主に日常生活で使える単語やフレーズを中心に教科書とプリントを並行しながら進められた。また文化授業では台湾の文化が学べる授業が選択することができました。校外授業でも台湾の有名な観光地に行くことができ、充実したプログラムだった。授業以外の自由時間では観光もできたり、カフェでおしゃべりしたり、授業で仲良くなった学生と出かけしたりした。日本人もとても多く、馴染みやすい環境であった。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 日本語で会話できない相手でもコミュニケーションをとろうとする意欲。
- 私はアジア専攻なので、台湾に三週間滞在して得たものはとても多い。台湾人の生活の仕方や会話の特徴、食文化やファッションなど日本でインターネットで検索するだけではわからないことがたくさんわかりました。
- 中国語のスキルはもちろん、コミュニケーションの能力が上がったと自負しています。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 台湾の事を中心に学ぶゼミにいたので、多くの場面で活かせると思う。また日本に住んでいる、中華圏の方も多と思うので、助けられるようにしたいと思う。

- 検定を受け、形として残したいと思います。また、アルバイト先での中国人のお客さんの対応、就職した先でも役立てたいと思っています。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 授業はすべて中国語で行われますが、自分のレベルに合ったクラスに分けられ、同じクラスの人レベルは同じなので、助け合いながら協力して授業を受けられるので大丈夫です。また、レベルが合わないと感じたらクラスを変えることも可能でした。
- サポートがしっかりしているので、特に不安なく研修を楽しむことができますと思います。



研修・留学先：梨花女子大学校 短期語学研修（韓国）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- ドウミの制度（現地学生が1対1で留学生をサポートする制度）があり、授業外でも韓国語を話す機会があったことです。ドウミの方はとてもやさしかったです。週に2、3回、毎回3時間以上会い、仲良くなりました。今でも連絡をしています。
- 授業のすべてが有意義でした。語学力が確実に上がったと思います。3週間という短い期間でしたが、韓国語は日本人にとって比較的学びやすい言語であるため、限られた時間でも毎日その国の言葉や文化に触れたことで、日本語で会話をしていても、韓国語がすぐに頭に浮かぶことも多くなりました。また、現地で友人ができたり、お店の店員さんともたくさん会話をすることができました。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 全部韓国語での授業は、日本で韓国語の授業を受けるよりも、聞く能力が培われる授業であった。授業内容はそこまで難しくなく、初心者でも付いていけるように感じた。旅行では知ることのできない、韓国の文化を知ることが出来た。今回、1人でまだ行ったことのなかった場所に行く機会があり、異国で不安もあったが挑戦してよかったと感じる。
- 自分のレベルにあった授業を受けることができ、留学の成果を感じる事が出来た。初めは自信がなかった会話は最後の授業であまり躊躇せず発言することが出来るようになった。生活面では、晩ご飯を買うにも韓国語を使い、分からないことを聞くにも韓国語を使い、韓国語がなければならない状況だったので一つ一つのことがいい経験になった。
- すべて韓国語での授業でした。文法を学び、読み・書き・聞き取り・会話練習までまんべんなく行いました。レベル別で教科書が用意されており、3週間かけて1冊の内容に取り組みました。最終週にテストがあり、70%以上取らなければ修了ができないという規則だったため、授業外でも自主的に復習をしていました。1日の学習量が多いため、私は毎日その日に学んだ内容をまとめるようにしていました。韓国語学習以外では、文化授業があり歴史的建造物を見物したり、文化的作法を学びました。土日は1日空いているので、ショッピングをしたり、遊園地へも行きました。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 自分が日本で生活していた環境は、世界で見るとこんなに小さいものであるのだと感じることが出来た。韓国は日本から一番近い国で、身近に感じていたが、三週間滞在すると食べ物や生活スタイルなど日本と全く異なることを知り、もっと韓国を知りたいと思えるきっかけを得た。
- なんでもトライしてみる！というチャレンジ精神。そして、リスニング力、会話力。特にリスニング力は、初めはお店で何を言っているか分からなかった言葉も毎回聞いているうちに、最終的に分かるようになった。
- 語学力はもちろんのこと、今後も勉強を一生懸命していきたいという決意もさらに強くなったと思います。私がいた梨花女子大学校は勉強意欲が強い学生が多く、キャンパスを歩くと勉強やプレゼンの準備などを行っている学生がとても多くいます。その姿にもとても感銘を受け、語学以外でも勉強意欲を持つきっかけになりました。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 今回、言葉の壁を痛感した。思っていること、伝えたいことがあるのに伝えられないもどかしさを知ったことから、韓国語の勉強に更に精を出していきたい。
- アルバイト先で生かしたり、就活の中で生かしたり、韓国語能力試験の勉強などにも役立てていきたい。日常生活の中で少しでも生かせるようにしたい。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 物価が安く、交通費も安かったことです。
- カフェに行ったときに、店内で飲食をするカップは必ずマグカップを使うことやストローは紙など日本よりも環境に対してとても真剣に取り組んでいる気がした。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 三週間長いかなと思う方が多いかなと思いますが、あっという間の日々でした。自分が留学中になにがしたいのか、はっきりとした目的を持って挑んで下さい。一日、一日を無駄にしないことが大切です。
- やりたいことはすべてやりましょう！勉強も遊びも「また明日でいいや」と思っているうちに帰国日が来ます。やりたいことはその日のうちに。時間は自らでいくらでも作るができると思います。留学は学生だからこそ満足にできる特権だと思います。なので、少しくらい欲張りに、毎日楽しく過ごしてください！



研修・留学先：オックスフォード大学ハートフォードカレッジ 短期語学研修（イギリス）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 英国文化に触れることができたことです。歴史や、建造物、文化、芸術作品など、幅広く接する機会があったのでとても充実していました。
- RA（レジデント・アシスタント：寮に共に住み主に留学生の生活面のサポートを行う）や他大学・外国人とコミュニケーションを取れたこと。他大学の日本人と交流をもつことで英語を頑張ろうというやる気につながった。中国や韓国からの留学生とは、“英語”を使ってコミュニケーションを取るのので良い勉強になったと思う。
- 英語を話し学ぶといった行為に対して積極的になることができたこと。
- 三週間、留学生として寮で生活できたこと。寮生活の中で周囲と打ち解け、自分も成長していくことができたと思う。基本的に自分たちで行動ができるというのは大変なこともあったけれど楽しさも得るものも大きかった。
- 夜のフリータイムの時に中国から来ていた留学生と過ごしたこと。会話は英語と中国語両方を使い、私は第二外国語で中国語を学んでいるため中国語の勉強にもなった。互いの国の違いを楽しむことができた。
- 実際に現地を訪れたことで、日本では感じるものの出来ない異文化を肌で感じる事ができたこと。特に、食・習慣・街並みの3つが興味深かった。語学は日本でも学べるが、現地に足を運ぶことで、語学はもちろんその土地の人々と交流でき目や耳で学ぶことができた。
- 現地のイギリス人の方々と会話したことが、私にとって初めての経験であり、自信の獲得につながったと思う。買い物時や大学の先生とのコミュニケーションにおいて、英文法の知識だけでは成立しない英会話を行うことができたのではないかと。また、自信を得た契機として、Oxford大学をはじめ、地域の方々の寛容な姿勢に助けられ、英語を話す機会が自然と増えたことが挙げられる。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 英語を学ぶというより英語でイギリスの文化や歴史、ロイヤルファミリーについて学んだ。授業の始めにその日のトピックについて知っていることを意見交換する時間があった。その時にトピックについて何も知らないと意見を言うことができないため、事前に予習をする必要があった。
- 受け身の授業ではない参加型の授業であり、自分の意見を求められることも多かった。RAとのアクティ

ビティや授業後のショッピングでは、授業より英語を話す機会が多くあった。

- 英米で使用される語句の差や発音の違いを学びました。
- 授業以外ではツアーを通して多くの博物館や美術館へ行き、イギリスや世界の文化について学ぶことが出来た。
- 少人数で行う授業のため自分の意見が言いやすく楽しい授業だった。授業以外の場面では自分でなんとかしなければならぬので英語を使うためのいい経験になった。
- 食事の時間が決まっていたり、スケジュールが細かく決まっていたりしたので、規則正しい生活を送ることができた。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 協調性とチャレンジ精神を得ました。
- 積極的に行動することを学び得た。授業においても自分が分かったこと、考えたこと、思いついたことは自ら口に出すという授業の形式であったため、積極的に行動することが出来た。
- RAや寮に来ていた他国の留学生たちを見て、海外の大学生の、勉強に対する意識の高さを感じました。また、困ったことがあっても、簡単に家族に頼れない環境は、少し自分を成長させてくれたのではないかと思います。
- 寮生活を通して周囲と協力する力・自分で考え行動する力がついたと思う。
- 積極性、勇気、根性、自立心、共感力、勉強に対する意欲の向上、コミュニケーション力、広い視野、親への感謝の気持ちなど書ききれないほどたくさんのもので得ることができた。
- コミュニケーション能力が高まったと感じる。慣れない環境において自ら尋ねなければならない場面が多く、意思表示することが新鮮に思えた。さらに、現地の方々から世間話のように尋ねられることも多く、受け答えをしていくなかで対話の重要性に気づき、言語の壁を越えた楽しさを、身を持って感じるすることができた。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 今回、自分の価値観の小ささを実感したので、視野思考を広めたいと考えています。また、日本に住んでいるのに日本のことについて無知なので政治経済部分にも目を向けたいと思っています。
- なにも分からない状況で自ら動いて解決しようとする力は今後社会に出てから役立つと思う。
- この留学に参加し、文化の違いに対して対応する力、自主性を得た。今後、戸惑うような体験があったとしても柔軟に対応し物事を楽しみ、積極的に英語を学びたいと思う。
- 授業の中で多くのイギリス文学について学び、興味をもったのでこれから読んでみたい。そのうえで自分の学部授業の学習に生かしていければと思っている。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 授業と授業の間のティータイムが30分あり、次の授業にとっても集中できました。それと関連して、夜はお店が早くしまっておりワークライフバランスが、整っているように感じました。日本とは違って、勉強や仕事と、休む時間の切り替えができていてすばらしい文化だと思いました。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 日本の歴史、皇室についてやイギリスの文学など少しでも予習していくと、留学のときに予習で得た知識を使うことができると思う。
- わたしたちはRAととても仲良くなって、最後お別れするときはRAも私たちも泣いてしまいました。日本人で固まらず、ぜひRAとたくさんコミュニケーションをとってください！
- 留学は人生で1度できるかできないかというとても貴重な体験であり、もし迷っているならぜひ挑戦したほうがいいと思う。本当に人が変わるくらい現地に行くことで沢山学ぶことがあり、これからの人生に生かせることばかりだから！
- 今回私が参加したプログラムは、住まいだけでなく食事も付いていたため、比較的負担が少なく、海外の滞在が初めての方にとっては充実しやすいものだと思う。自発的な行動をもとに、英語のスキルアップをしながら知識を得て、文化を感じ、交流を広めていく濃密な期間にしてほしい。



研修・留学先：スターリング大学 短期語学研修（イギリス）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 日常的に英語を話す環境があることです。特に地域の人々との距離感が近く、初対面でも警戒感なく多くの会話をしてもらうことができました。また留学先で一般的に使われていた英語表現の中には、日本の授業では習ったことがないものも多く勉強になりました。
- 日本学生の友人が増え、たくさんの人との交流ができたこと。また、現地の学生の友人も多くでき、食事に行くことや家に遊びに行くなどの貴重な体験ができたこと。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 授業では家事や仕事や対人コミュニケーションなど、主に生活するうえで役に立つ英会話を習いました。授業以外では大学内のサークルを見学したり、新しくできた現地の友達に英語を教えてもらったりしました。生活面では日本との環境の違いに戸惑うことも多くありましたが、一つ一つの文化の違いに多くの興味が湧きました。
- 授業では、文法を中心に1クラス15人制で行った。プレゼンテーションでは4人1グループになりスコットランドの神話について調べ、発表をした。週末課題として、日記の課題が出た。授業以外では、毎週土曜日にスコットランドの大聖堂や城に行きイギリスの歴史に触れることができた。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 身に着けた語学力をさらに向上させ、機会があればまた留学に行きたいと思います。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 様々な国から人が集まっていました。イギリス国内だけでなく、他の国の話についても触れる機会が多くありました。



研修・留学先：フライブルグ大学 短期語学研修（ドイツ）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- やはり何よりもドイツでドイツ人の先生からドイツ語を学べたことです。日本人だけでなく様々な国の生徒とともにドイツ語を学びました。日本以外の学生は同じレベルのクラスでも会話や聞き取りがスムーズなようで、焦りを感じましたが、逆にそれがドイツ語学習の意欲にもつながりました。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 授業で取り扱う単元自体は日本で既に受けた内容でした。ドイツ語でドイツ語の文法や語彙の説明を受けたり、クラスメイトと小さなゲーム等をやりドイツ語での会話を実践したりしました。生活面ではカフェやレストラン、スーパーで簡単なドイツ語を使う機会があり、日を重ねるにつれて少しずつ自分の中でドイツ語がナチュラルになっていくのを感じられました。また、突然ドイツ語で話しかけられることがあり、多少英語を交えてではありましたが、特に実践的なドイツ語会話レッスンになりました。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- ドイツ人の友達が出来、出会った人達と交流出来、英語またはドイツ語で話すことが出来、日本語を話す機会が少なかった。
- 日本で学習しているときには気づかなかったドイツ語の考え方に気づけたこと、教科書等で見るドイツ語の定型文がどこでどのような流れで使用されるかを実感することができたと思います。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 研修に参加したことで得られたドイツ語の感覚を忘れず、今後もドイツ語を学習していきたいです。この先、仕事や実生活でどれほど活用できるかはわかりませんが、今回持つことのできたスキルを

活かせる場所を自分から見つけていきたいと思います。

研修・留学中に困ったことはありませんか。それはどんなことでしたか。

- 日本以外のクラスメイトとの授業外の会話が基本的に英語だったので、結局英語も勉強しておくべきだったなと思います。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- とてもいい国で、治安もいいので存分に語学の勉強をして欲しいです。
- リスニングの勉強をしてドイツ語を耳にならしておく方がよりよい学習ができると思います。結局、ドイツ人の先生がドイツ語で授業をするので、そもそも聞き取れないと文法がいくらできて、おいて行かれるような気持ちになって落ち込みます。話せなくても文法ができなくても聞き取れるほうが強いです。



研修・留学先：マレー州立大学 長期留学（アメリカ）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 日本人留学生が少なかったので、多くの他国の友達を作れた。留学生のための交流の場として、毎週日曜日に近くの教会に連れて行ってきて、地域の方や、教会にきている方たちとの交流があってとても勉強になった。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 私は将来英語を活かした仕事につきたいと思うので英語力をもっと伸ばしたい。今の日本は英語が必要だと思う。例えば、2020年にはオリンピックがあり、多くの外国人がくると思うので、ボランティアをしたいと思う。私の英語が将来に役に立てたら良いと思う。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- Murrayはとてもいいところで、治安がとてもよかったので驚きましたが、大妻のように都会ではなく遊ぶところがないので、自分で交流できる場所やイベントを探して外国人の友達と留学ライフを過ごして欲しいです。



研修・留学先：カリフォルニア大学リバーサイド校 長期留学（アメリカ）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 最も有意義だったことは様々な文化に触れたことです。常識や当たり前だと思っていたことは国が違えばどうでも良いことだったりするのだなと感じ、今までの自分を見つめ直すことができたし、以前よりも広い視野で物事を考えられるようになりました。また、長期休みにアメリカ国内の様々な地域に旅行し、いろいろなことに興味を持つようになりました。
- 英語のリスニング、ライティング、発音が良くなったこと。ホームステイ先がメキシコ系の家庭であったこと、公用語が英語とスペイン語だったことで2年時まで履修していたスペイン語の勉強にもなったこと。日本にいたらめったに会えない人種や文化を持っている人とたくさん交流できたこと。
- 日本の授業とは異なる授業形態（少人数クラス、ディスカッション、プレゼンが主）により人前で英語を使うことに慣れてきた。様々な国際交流（アメリカだけではなく中国、韓国、サウジアラビア、クウェート、トルコ、カザフスタン、イタリア等）を体験することができた。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 最初の2タームはWriting & Reading、Grammar、Listening & Speakingの3つの授業、3ターム目はListening & Speakingの代わりにStory to Movieという授業を取った。授業以外では、多くの宿題があったためお昼休みや放課後に時間をかけて取り組んだ。また、ホストファミリーや日本人以外の友達と会話をしたり英語の映画やアニメを見てなるべく英語に触れたりするよう心がけた。

- 午前中3時間、午後2時間の授業。午前は英語の4技能を中心とした実践的な能力を養う授業。午後は自分の興味のある分野(文法、発音、文化、メディア、映画、TOEFL対策等)。毎日課題が出される(フィードワーク含む)他、手紙や面接の講座が授業後及び休日に行われた。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 英語力を伸ばすために留学に行ったが、結果的に英語力だけではなく文化や慣習、歴史なども国際交流を通じて深めることができた。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- アルバイト先での業務、資格取得、就職活動、卒業論文執筆に生かしたい。
- 人前に出て何かを発表することが多かったため、プレゼンテーション等のパフォーマンス能力、また人に詳しく分かりやすく説明する力を今後の発表の場で活かしていきたい。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- アメリカでは多様性の受け入れが当たり前に行われていると感じた。
- 授業内では生徒自身からかなり意見が出る。先生が何も言わなくてもすかさず意見を言わなければいけない場が多かったため、雰囲気引張られて自分から発言する機会が増えていった。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- タームによっては日本人がたくさんいるのでその中で日本語に甘えず、英語の環境に身を置くことが大切だと思います。
- 能動的に行動すること。学校内で働く人と仲良くなることで、多くの情報をもらえる。日本人と関わりすぎるのも良くないが、一切関わらないのも良くない。情報共有がとても大事。
- 私はこのプログラムでホームステイと寮の両方を経験しましたがホームステイを強くお勧めします。寮では基本的に学内の同年代の人にしか会うことがありませんが、ホームステイでは幅広い年代の方々と出会うことができます。



研修・留学先：ディーキン大学 長期留学 (オーストラリア)

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- オーストラリアは多民族国家でありさまざま人種がともに暮らす国なので、多種多様な国の人と友達になれてそれぞれの文化や言語を知ることができたのは私にとってとても有意義だったと思います。
- 自立心を育てられたこと。初めて親元から離れ自分で一からわからないことを全く知らない環境飛び込みながらも、自力で解決していったということ。特に寮生活に移った時から自分で自分のペースに合わせて家事をして、生活すべてを違う国籍の人たちとルームシェアしながら過ごして行けたことは、日本に帰ってきてからもこれは自分の事なのだから自分で何とかしていきたいという気持ちが強くなった。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 語学学校では、speaking, writing, listening, readingそれぞれのスキルを上げる勉強をしました。クラスメートとあるトピックについてディスカッションをしたり、授業でTEDトークという英語のスピーチを見て聞き取る練習をしたり、制限時間内であるトピックについてレポートを書いたり、ひたすら記事を読むこともありました。大学では現地の学生とともに授業を受け、山のように課されるreading課題をひたすら読み、レポートを書き上げました。語学学校での経験がなかったらできていなかったと思います。放課後や自由時間はTEDトークやYoutubeでリスニングの練習をしていました。
- 語学学校ではGrammar やVocabulary について学びなおし、Essayの書き方を学びました。また、大学で授業を受けるコースでしたので、レポートを書く上でどのようにリサーチしどんな参考文献がいいのかなどを詳しく学びました。そして大学の授業では自分が選択した科目について現地の学生と共に勉強しました。例えば、私は三教科の中で広告についての授業を受けたときは、広告がどのようなものか、どのようにクリエイトされているのかをみんなでディスカッションし詳しく学びました。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 日本ではどちらかというと他人任せで流されやすいタイプだったのですが、留学に行ってみて自ら考え主体的に行動するようになりました。
- 私はもちろん英語力もそうですがやはり一番は自分で何でもやってみたいと思う挑戦心を得たと思う。今までは、世間が憧れる大学に行って東京でみんなが目指すような人気の職業に就職して…と思っていたけれど、留学をして広い世界を見ていろいろな生き方があると感じられたので、これは自分の人生なのだから自分の望むことをして精いっぱい楽しみたいと思えるようになった。
- 一番学んだことは、コミュニケーション能力、そして英語は世界の人たちと関わり結ぶことのできる武器であるということです。今まで知らなかった地に行くことで今まで見たことのない世界に触れることができ、視野を広げることができました。それは今後の私の人生にとって大きなことであり、自分がなにをしたいのかを試行錯誤できました。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 誰かをお手本とすることを自分の夢にするのではなく、もっと自分の頭で考えて自分が今何をしたいのか、本当の目指す姿は何なのかを、苦難のほうが多かった新しい環境での生活の思い出を通して生かしていきたい。
- 私は後悔しない人生を送りたいとこの留学を通して思ったので、留学で身につけた英語力を生かし、客室乗務員として多くの方達と触れ合い接客したいです。また、多くの方に勉強の英語ではなく、楽しい英語を知ってほしい、また異国の英語教育方法を取り入れた英語で英語を学ぶ環境を広めたいのでインターナショナルスクールを経営します。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 楽しいこと以上にストレスだったり嫌なことが多かったりするかと思います。帰ってきたら英語力が伸びた喜びよりもきっと変わった自分を実感して嬉しくなると思います。いつになったらみんなが想像する帰国子女のように英語が話せるようになるだろうと焦るかもしれませんが、あまり気負わずに、でも全力で自分なりにこれを頑張ったと胸を張って言えるように日々精進してください。
- 現地に行ったら楽しいことよりも辛いことの方が多いと思います。ですが、勇気をもって何事にも挑戦してください。そして勇気を持つことが大切です。英語ができないから、完璧じゃないから話すのが恥ずかしいと思うかもしれませんが、完璧な人なんていません。一生後悔するより一度恥ずかしい思いをした方が絶対に力になりますし、後悔しません。



研修・留学先：国立台湾大学 長期留学（台湾）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 世界各国から中国語を学びに来た人と知り合えた事。
- 台湾や海外の友達ができただけでなく台湾ならではのものをたくさん教えてもらいました。また私が今まで出会ったことのない考え方や優しさも知ることができました。そして「もっとみんなと話したい」という気持ちが何よりも中国語の力を伸ばしてくれました。台湾留学がこんなにも充実したものになったのは間違いなく友達の存在があったからだと思います。
- 留学の大学にてサークルに所属し、毎週テニスをしながらか話をすることが有意義だったと感じます。自分が学んだことをアウトプットできるだけでなく、かけがえのない友達にも恵まれました。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 基本的に教科書に沿った内容で、それに関連して教科書には載っていない日常でよく使われる単語やフレーズを勉強する事もあった。時にはパワーポイントなどを用い、プレゼンテーションなどを行った。クラスメイトと教科書内のフレーズを使った会話の練習や、それぞれ台湾料理のレシピを紹介し合い料理したりもした。授業外学習は、学校の図書館が寮に戻って自分の部屋でする事が多かった。

- 一日三時間中国語の授業を受けました。担任の先生一人に対して私のクラスは生徒が五人、クラスメイトはもちろん日本人もいますが、国籍や年齢もバラバラで幅広くとても国際色豊かでした。授業内容は先生によって異なりますが、教科書だけでなくスライドやプリントを使うことが多かったです。毎週一回は小テストとリスニングのテストがありました。わからないときはいつでも質問にいける環境でした。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 友人関係。共に中国語を学んだクラスメイトは国籍も母国語も違うが、中国語というツールで繋がりを持てた事がとてもうれしかった。また、同じ趣味を持った現地の方とも知り合い、そこからまたコミュニティの広がりがあった。
- 言語を学びに行ったのですが、言葉よりも行動の方が何倍も大事だと感じました。行動を起こせばなにかしら得るものがあるということ、恥ずかしさやつらさ、間違えることは失敗ではないことも学びました。少しだけでも外国語ができるようになると一気に知ることのできる範囲が広がることを体感しました。
- 文化の違いに対して自分がどう思うか意見を持つようになりました。また、自分の持つ文化、習慣に対してそれはなぜ自分にとって当たり前だと思うのか、自分にとっての当たり前が他の文化を持つ人にとってのようにみられているのか考えるようになりました。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 中国語を使って勉強をしてみたいと思うようになりました。その言語でないとわからないニュアンスや背景があると感じたこと、留学する中で興味のある分野が広がったことから次は今回の経験を生かし本科留学に挑戦してみたいです。また日本で留学生や海外の方と知り合う機会があれば、できる限りの手助けをしたいと思いました。台湾の友人にしてもらった親切や優しさが本当に嬉しかったので、今度は私がする番になりたいと思いました。
- 言語は、使うことでより自分のものになると考えるので、大学の留学生との交流やアルバイト先で積極的に中国語を用いてコミュニケーションを図っていこうと考えています。また、学んできたものをより深い学びにつなげるためにも中国語の学習を続けていきたいです。将来、職業選択の際にも中国語を使うような仕事につきたいと思います。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 台湾は買い物の際にビニール袋が有料であったり、飲み物購入時にプラスチックのストローを配布しない店もあり、日本より環境問題に熱心に取り組んでいると感じた。
- 大学生がバイトもおしゃれも飲み会もあまりしていないということにとっても衝撃を受けました。大学生の本分は勉強だと再確認させられました。時々日本の飲食店の丁寧な接客や清潔さが恋しくなりましたが、台湾は食費が安くて生活がしやすかったです。人と人との距離が日本より近いと感じました。
- 現地の人たちは自分の国の現状に対してどう思っているか、自分たちはどうしていきたいかなどの意見をそれぞれ持っていることが印象的でした。その国に住んでいる限り、自国に関して興味や関心を持つことの大切さを感じました。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 正直もっとああすれば良かった、と後悔している部分が多々あります。後悔の方が多いかもかもしれません。言葉が通じなくても、自分の意志を伝えたい気持ちと、踏み出す勇気があれば世界が変わると思います。悔いの残らないように今しかできない事をして来てください。積極的な行動、とても大事です。
- 留学が終わってから思い返すと、最初のうちにサークルなどに入って現地の大学生と友達になったことが本当に正解だったと思います。また、留学先で日本人同士固まるのは良くないかもしれませんが、不安や寂しさでつらいときに同じ環境にいる日本人の友達の存在は絶対に支えになるし必要だと思いました。

研修・留学先：明知大学校 交換留学（韓国）



研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 韓国語を日常的に使う環境での生活が送れたため、自身の韓国語の力（聞き取り、会話等）が向上した

こと。そして、韓国人の友人ができたことによって韓国の文化に多く触れ、旅行では感じる事ができない部分を知れたこと。

- 時間が有効に使えた分、韓国の様々な場所に行けたことです。韓国人の友人と釜山へ小旅行に行ったり一人でカフェ巡りをしたりなど、日々の生活そのものが常に韓国語との触れ合いであったため、もちろん机に向かって勉強に励むことも大事でしたが、できるだけ外に出て韓国語を実生活で使えたことは自分にとって留学の意義を果たせ、有意義であったと感じます。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 韓国語の能力をあげることを目的として留学をしたので、基本的には、韓国語（文法、会話、活用）の授業がメインだった。だが、英語での講義も週に一度程受けていた。授業以外では、自分で持って行った教材で勉強、授業で出た課題や、予習・復習をしていた。また、韓国ドラマやバラエティ、動画配信アプリを使ってリスニングをしていた。生活面では、友人達と出かけたり、美味しいお店を探したり買い物に出かけたり、毎日楽しく過ごしていた。旅行で行くよりも長い時間を過ごせたので、旅行では行けない場所に行ったり、できないこともでき、多くの経験ができた。日本より物価が低いので安く常に楽しめていた。
- 留学生限定の韓国語の授業（会話・文法・活用）、現地の学生と一緒に受講する、現代日本の理解、聖書の理解を受講しました。私は宿舎のルームメイトが韓国人のお姉さんであったため、授業だけでなく部屋の中でも韓国語を話すことができ、また課題で分からないことなどは助けてくれたりと、大学生活も普段の生活も含めとても有意義に過ごせたのではないかと思います。大学ではサークルなどに参加しなかった分、友人を作ることは難しかったのですが、大妻に留学で来ていた明知大学校生が毎週昼食を一緒に食べたり映画を見に行ったりと良くしてくれたので、友情の有難みを感じるが多かったです。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- この留学を終えて、大事な友人を得たと感じる。帰国する際に、日本に帰りたくないと思えたのは、間違いなくこの4ヶ月の間で出会った人たちがいたからだと思えるからだ。いつも良くして下さる沢山のお姉さんやお兄さん、友達に出会うことができ、とても幸せだと感じ、また、自分が母国語以外の言語を使えるというだけで、こんなにも世界が広がっていくのかと思ったからだ。
- 抽象的ではありますが、本当の自立を得たと感じています。日本でも一人暮らしをしています。海外で一人で生活するという経験はなかなかできないものですし、ましてや言葉の壁もあったため一人で適応することも求められた中で約4か月間生活できたことは、留学をする前の自分から一皮むけたと思います。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 私は、元々韓国と日本を繋いでいけるようなそんな仕事をしたいと考えていたが、その想いがさらに強くなった。韓国語を使って日韓の架け橋に少しでもなれるような仕事に就きたいと感じた。まだまだ時間はかかってもこの経験と韓国語を生かしていきたいと思う。
- 現在就職活動真ただ中ですが、上手くいかない場面や困難に陥ったとしても留学した経験から精神的にも微々たることに動じないと思います。また、この経験からまだまだ様々なことに挑戦したいとも考えますし、卒論の中でも実際に韓国で暮らしてみても自分の肌で感じたことなどを生かしていきたいと考えています。

日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 日本と韓国の違いは、想像以上に多い。その中でも、年上への尊敬、敬語は絶対であること。公共交通機関の座席（優先席）の配慮も日本とは異なった。しかし、同じアジアであるため、生活する中での大きなギャップは基本的になく、とても過ごしやすい国だと感じる。

研修・留学中に困ったことはありましたか。それはどんなことでしたか。

- 困ったことは特になかったが、韓国は、日本に比べて、圧倒的に英語ができる人が多く、さらには英語のレベルが高いので、英語で行う授業が多く開講されていた。英語が得意ではない私にとっては大変であり、とても苦労した。他の国から来ていた留学生たちは、英語も流暢だったので、韓国に行っても、

英語はかなり重要なのだと身をもって感じた。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 韓国に留学を考える方は、韓国が好きで旅行にも何度も行っていたり、韓国語もある程度理解できる方たちがほとんどだと思うので、ただ自分の好きな国で過ごせるという喜びを感じながら、なにかあったりしたときには周りの人に頼りながら、楽しく過ごして頂ければいいです。頑張りつつも常に楽しめば、忘れることのできない素敵な思い出ができると思います。
- 交換留学という選ばれた立場でいくという自覚をもって、1年であろうと半年であろうと、とにかく自分で行動して吸収することが一番の成長に繋がると思います。留学すると決めただけでも大きな一歩だと思し、辛いことも大変なことも必ずありますが、総じて良い経験になると思います。ぜひ、限られた時間の中で一日一日を充実させて頑張ってください。



研修・留学先：国民大学校 交換留学（韓国）

研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 韓国人はもちろんのこと、アジア、ヨーロッパ、欧米圏の様々な国の友達ができたこと。大好きな国で、日々を過ごせたこと。

研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 韓国語の授業を韓国人以外の外国人の学生と受けた。その他には、日本学科のビジネスコミュニケーションの授業で、韓国社会と日本社会について討論し合う授業は貴重な体験であり、非常にためになった。授業が終わると色々な場所に出かけ、韓国の文化や習慣に触れ合った。食事の作法や公共でのマナーも日本とは異なることも多いので勉強になった。

研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 個人的には精神的に非常に強くなれた。自立できたと思う。外国で生き抜く大変さを経験できて、助けてくれる人の温かさにもたくさん触れることができた。このまま日本で、そして実家で生活していたら確実に1人では何もできない弱い人間のままだったと思う。

研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 今回の留学で自分がどれだけ日本のことを知らないか実感して恥ずかしくなった。そのため自分が生まれ育った国をもっと理解して知っていききたい。そしてまた今後海外の方々と様々な意見を交換し合いたい。

来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 行くか行かないか、もし迷っているなら絶対に行ってほしい。日本にいたら絶対に関わらない人、絶対に感じることでできないこと、絶対に体験できないことがすべてできる。確実に人生で最高の経験になると思う。

国際センターインフォメーション

■千代田校 国際交流支援グループ

〈設置場所〉 別館(J棟)4階J410室

〈開 室 日〉 月曜～金曜:午前8時30分～午後4時40分
土曜 :午前8時30分～午後1時10分

〈連 絡 先〉 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
電話番号 :03-5275-6310

■多摩校 学生・就職支援グループ

〈設置場所〉 4号館(図書館棟)1階

〈開 室 日〉 月曜～金曜:午前8時50分～午後5時00分
土曜 :午前8時50分～午後1時30分

〈連 絡 先〉 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1
電話番号 :042-372-9989

■国際センター ホームページ

<https://glbc.otsuma.ac.jp/>